

4. 住民意向等の把握

4-1 住民アンケート

4-1-1 調査概要

- 住民の日常的な移動特性や公共交通に対する利用意向、評価を把握し、弥富市地域公共交通網形成計画見直しの基礎資料とするため、住民アンケートを実施した。
- 調査は、市内在住 15 歳以上から 2,000 名を無作為抽出し、郵送発送、回収する方式で行った。
- 回収状況は下表の通りである。

住民アンケート概要

対象	市内在住 15 歳以上:2,000 名
配布期間	令和元年 8 月 9 日(金)発送 ~ 8 月 30 日(金)投函期限
回収数	828 通(回収率:41.4%)

- なお、案内文のうら面には、きんちゃんバスの利用促進を図るために、定期券等の情報のほか、同時期に実施していた無料お試し乗車券の情報も掲載した。

案内文（左：おもて面、右：うら面）

きんちゃんバス
に関するアンケート調査
ご協力よろしくお願いします!

令和元年 8 月
弥富市地域公共交通活性化協議会
会長 安藤正明

平成 22 年 6 月から実施運行を開始した「きんちゃんバス」は、これまでに実施したアンケート調査の結果や利用状況を踏まえた改善を繰り返し、利用者も増加傾向になるなど、より身近で使いやすいコミュニティバスへと成長しつつあります。そのような中、平成 28 年 3 月に策定した「弥富市地域公共交通網形成計画」の目標年が令和 2 年度となっており、次のステップへと向けて動き出す必要があります。

そこで、この「弥富市地域公共交通網形成計画」の見直し検討を行うための基礎資料とするためにアンケート調査を実施させていただきます。

つきましては、皆様には、お忙しいところを誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、是非ともご協力いただきますようお願いいたします。

なお、回答していただいた事項については、すべて統計的に処理しますので、個人が特定されるような内容は一切公表いたしません。また、ご回答いただいた調査票は、この目的以外には使用いたしません。

1. 調査対象者 弥富市在住の 15 歳以上の方 2. 000 人(無作為抽出)

2. アンケート回収 **8 月 30 日(金)**までに宛封の返用封筒に入れ、ご郵送いただくか、下記の問い合わせ先までご持参ください。

■ 記入上のご注意

- ご記入にあたっては、本人のほか家族・知人による代筆でも結構です。
- 回答は、該当する番号に○印をつけてください。質問によっては一つだけ選ぶものや複数を選ぶものがありますので、指示に従ってください。
- () には、数字や文字をご記入ください。

このアンケート調査についての問い合わせ先
弥富市地域公共交通活性化協議会事務局
(弥富市役所 危機管理課)
TEL: (0567) 65-1111 内線 363
FAX: (0567) 67-4011

令和元年 8 月～9 月の 2 ヶ月間
無料お試し乗車券が利用できます!

- 広報やとみ 7 月号と一緒に、全世帯に無料お試し乗車券を配布しています。
- うら面のアンケートにお答えいただいた無料お試し乗車券を、乗車時に運転手にお渡しください。無料できんちゃんバスをご利用いただけます。
- この機会にきんちゃんバスをお試しください!

お得な回数券・定期券・シルバーバスを販売しています!

回数券			定期券		
券種	枚数	料金等	券種	期間	料金等
大人	12 枚	2,000 円	大人	1ヶ月	6,000 円
高校生以下・障がい者	12 枚	1,000 円	大人	3ヶ月	17,100 円
			大人	6ヶ月	32,400 円
			1ヶ月	3,000 円	
			高校生以下・障がい者	3ヶ月	8,600 円
			高校生以下・障がい者	6ヶ月	16,200 円

2) シルバーバス (65 歳以上)

券種	期間	料金等
シルバーバス	1ヶ月	3,000 円
	3ヶ月	8,400 円
	6ヶ月	16,200 円

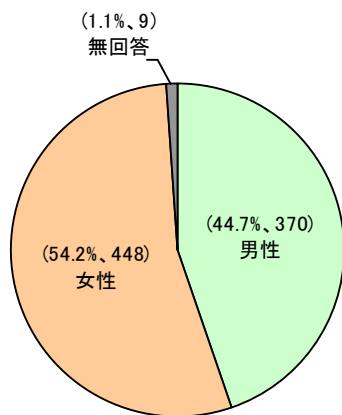
きんちゃんバスをご利用の際にも市内 6 施設の駐輪場を利用することができます!

- ① 総合福祉センター
- ② 白鳥コミュニティセンター
- ③ 十四山総合福祉センター
- ④ 十四山支所
- ⑤ 鍋田支所
- ⑥ 南部コミュニティセンター

4-1-2 調査結果

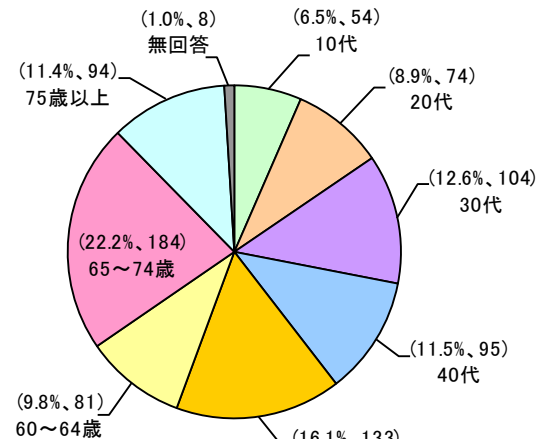
(1)属性

- 「女性」が54.2%と最も多くなっている。
- 「65～74歳」が22.2%と最も多く、次いで「50代」が多くなっている。
- 「会社員・公務員」が32.4%と最も多く、次いで「パート・アルバイト」が多くなっている。
- 「弥生小学校区」が15.7%と最も多く、次いで「日の出小学校区」が多くなっている。



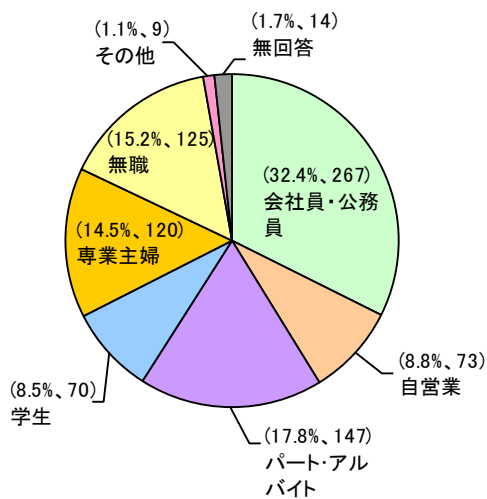
性別

n=827
※複数回答による除外1



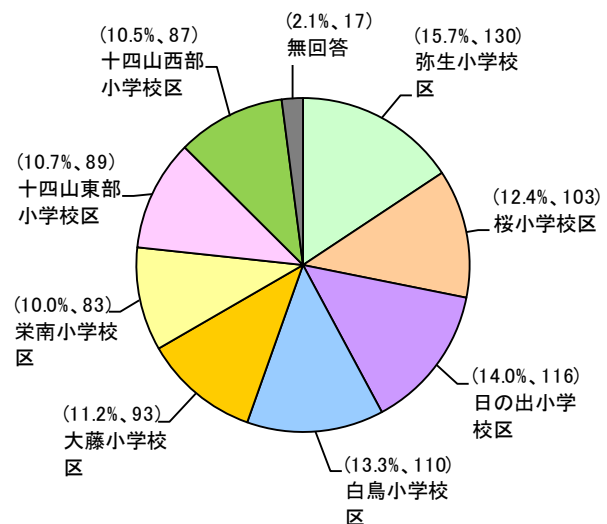
年齢

n=827
※複数回答による除外1



職業

n=825
※複数回答による除外3



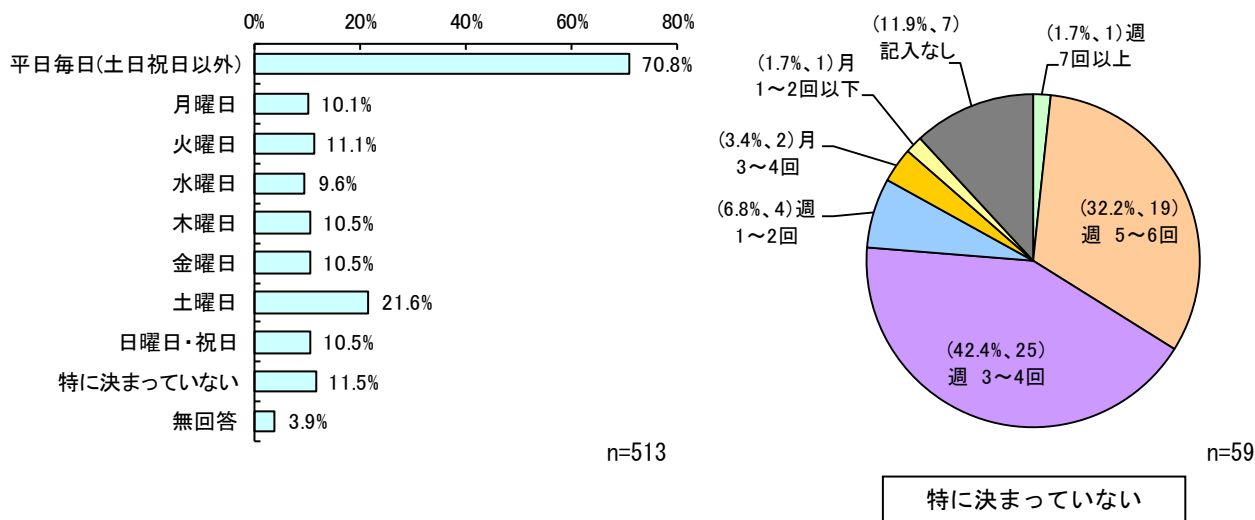
住まい

n=828

(2)通勤・通学する場合の外出について(習い事も含む)

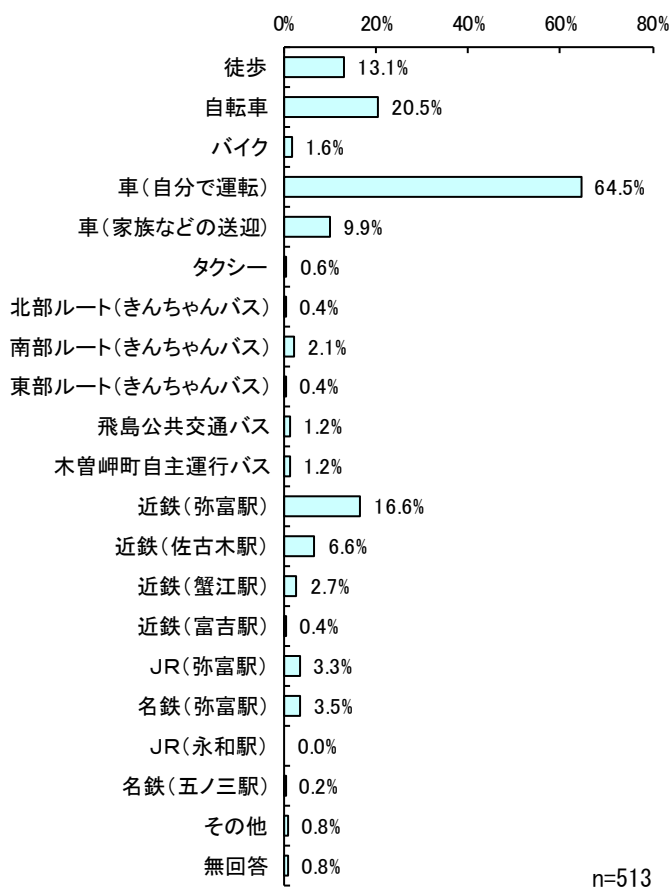
①通勤・通学する場合の曜日

- 「平日毎日」が70.8%と最も多く、次いで「土曜日」が多くなっている。
- 「特に決まっていない」では、「週3~4回」が42.4%と最も多く、次いで「週5~6回」が多くなっている。



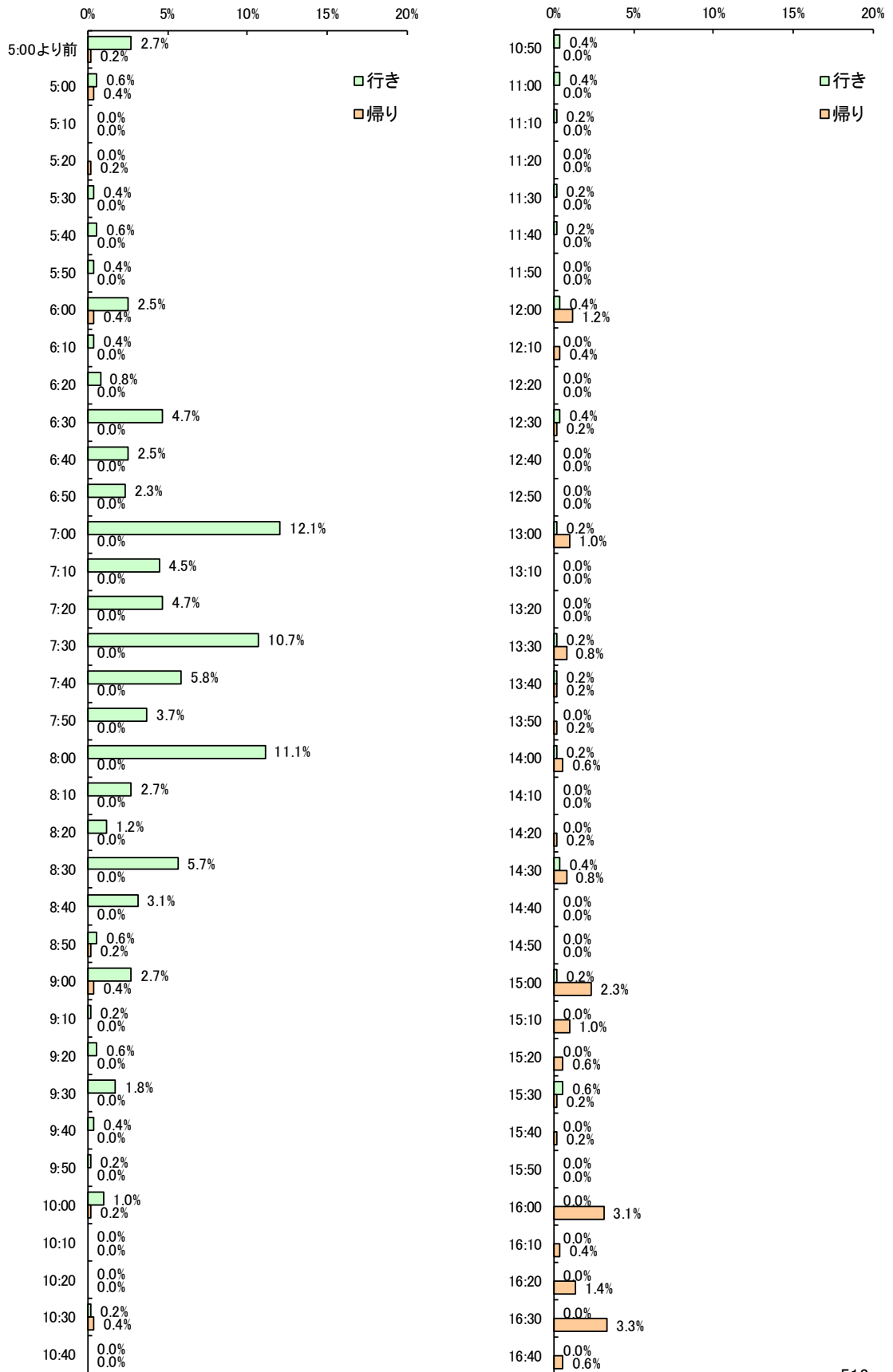
②通勤・通学する場合の主な交通機関

- 「車(自分で運転)」が64.5%と最も多く、次いで「自転車」が多くなっている。

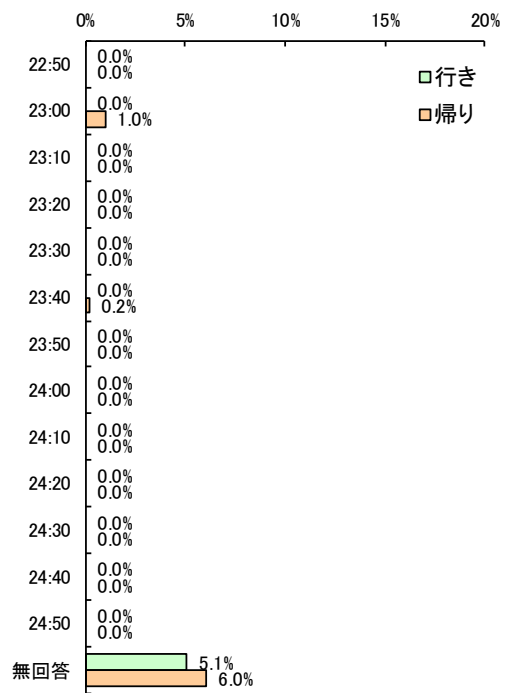
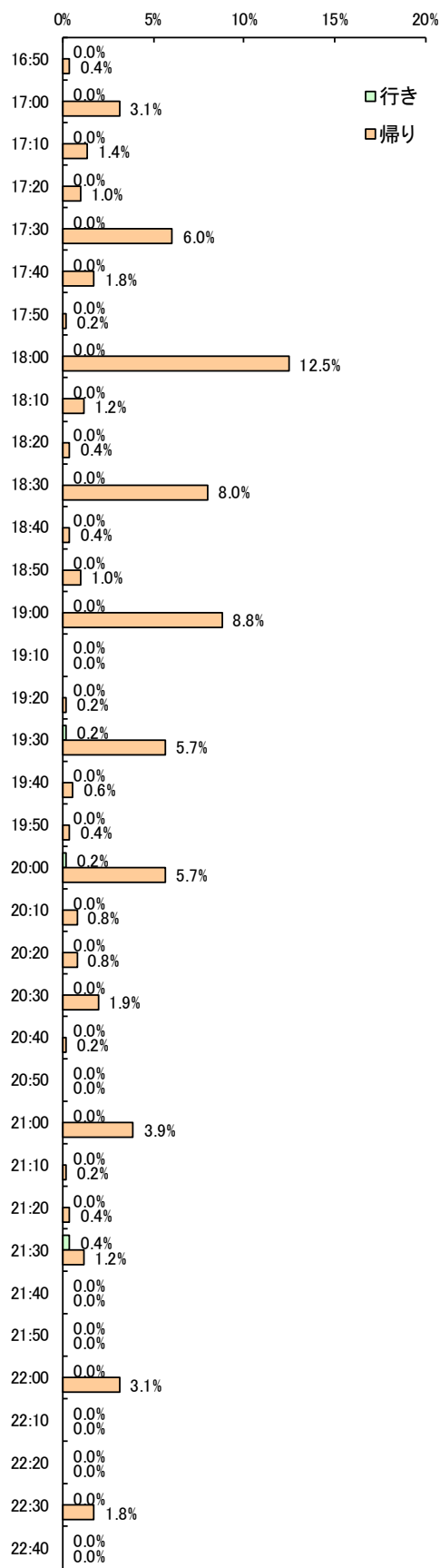


③通勤・通学する場合の主な出発・帰宅時刻

- 行きは「7:00」が12.1%と最も多く、次いで「8:00」が多くなっている。
- 帰りは「18:00」が12.5%と最も多く、次いで「19:00」が多くなっている。



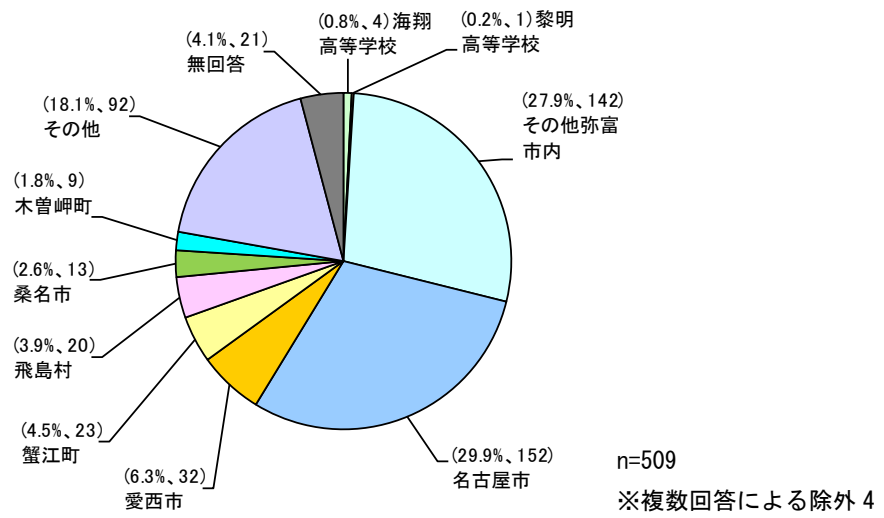
n=513



n=513

④通勤・通学先の場所・住所

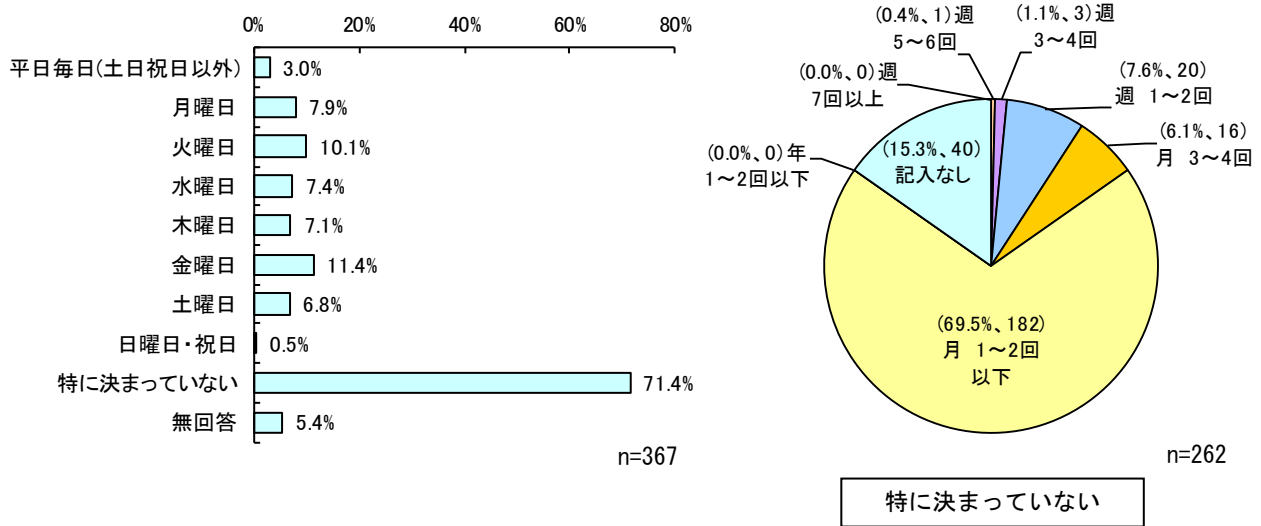
- 「名古屋市」が29.9%と最も多く、次いで「その他弥富市内」が多くなっている。



(3)通院する場合の外出について

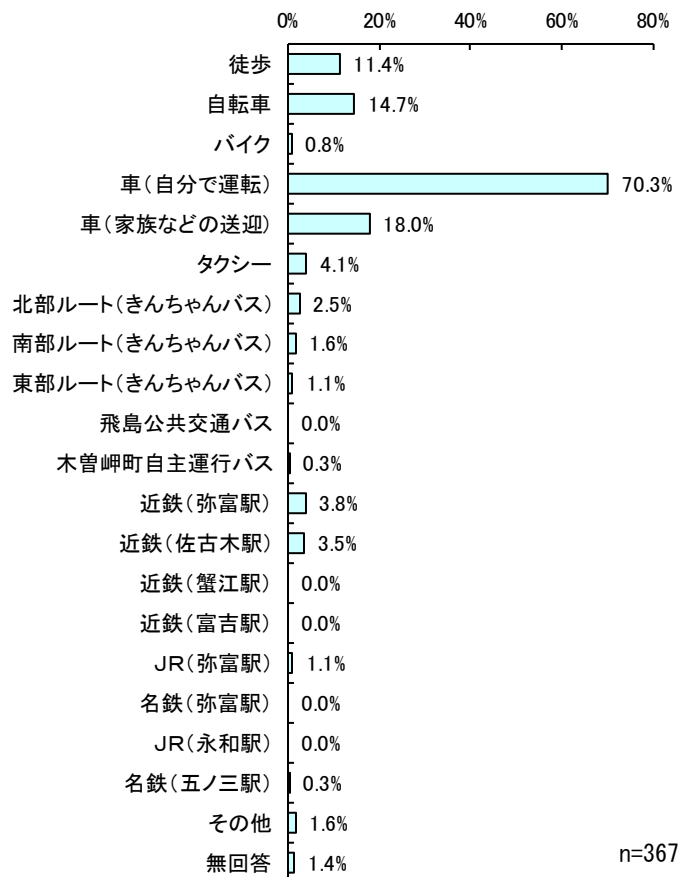
①通院する場合の主な曜日

- 「特に決まっていない」が71.4%と最も多く、次いで「金曜日」が多くなっている。
- 「特に決まっていない」では、「月1~2回以下」が最も多く、次いで「週1~2回」が多くなっている。



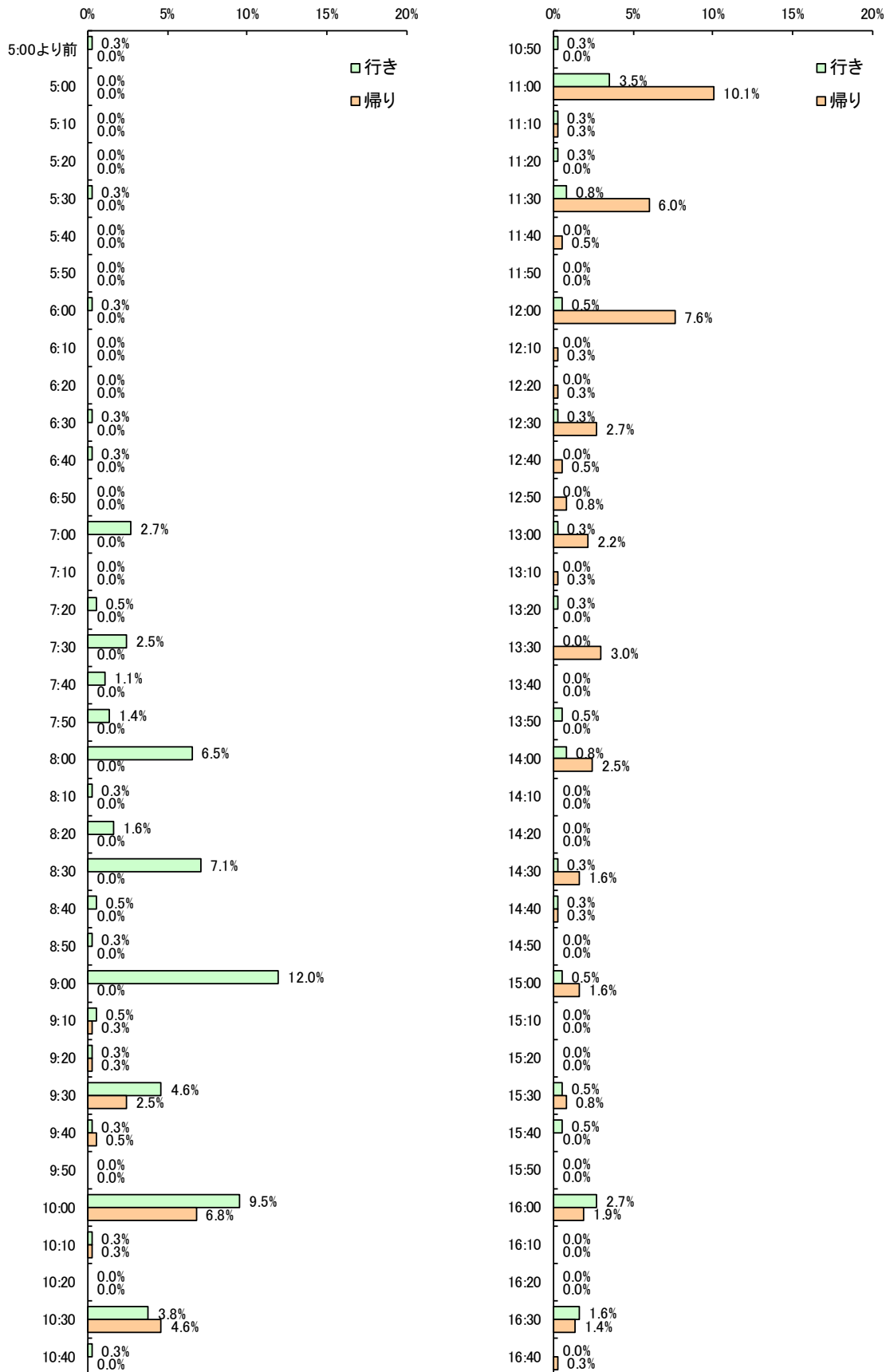
②通院する場合の主な交通機関

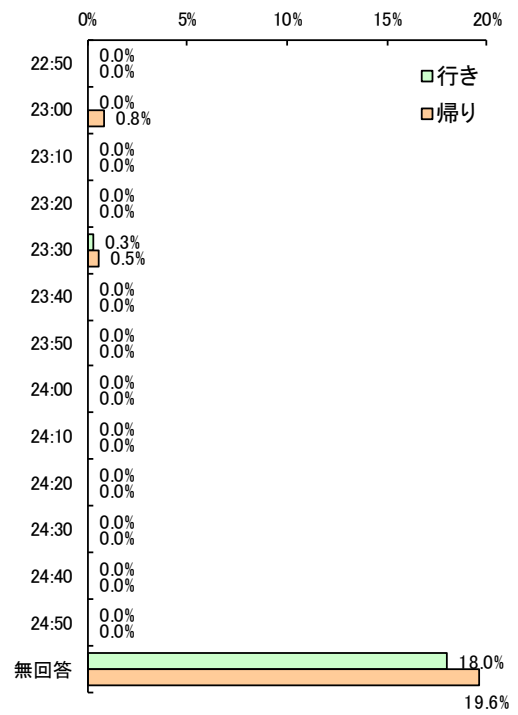
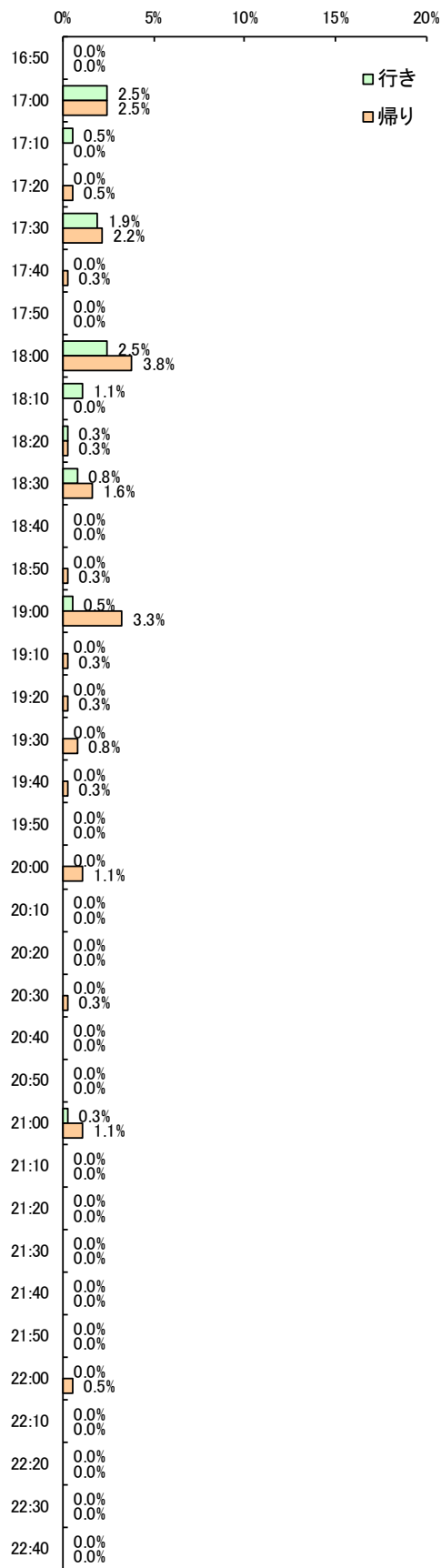
- 「車(自分で運転)」が70.3%と最も多く、次いで「車(家族などの送迎)」が多くなっている。



③通院する場合の主な出発・帰宅時刻

- 行きは「9:00」が12.0%と最も多く、次いで「10:00」が多くなっている。
- 帰りは「11:00」が10.1%と最も多く、次いで「12:00」が多くなっている。

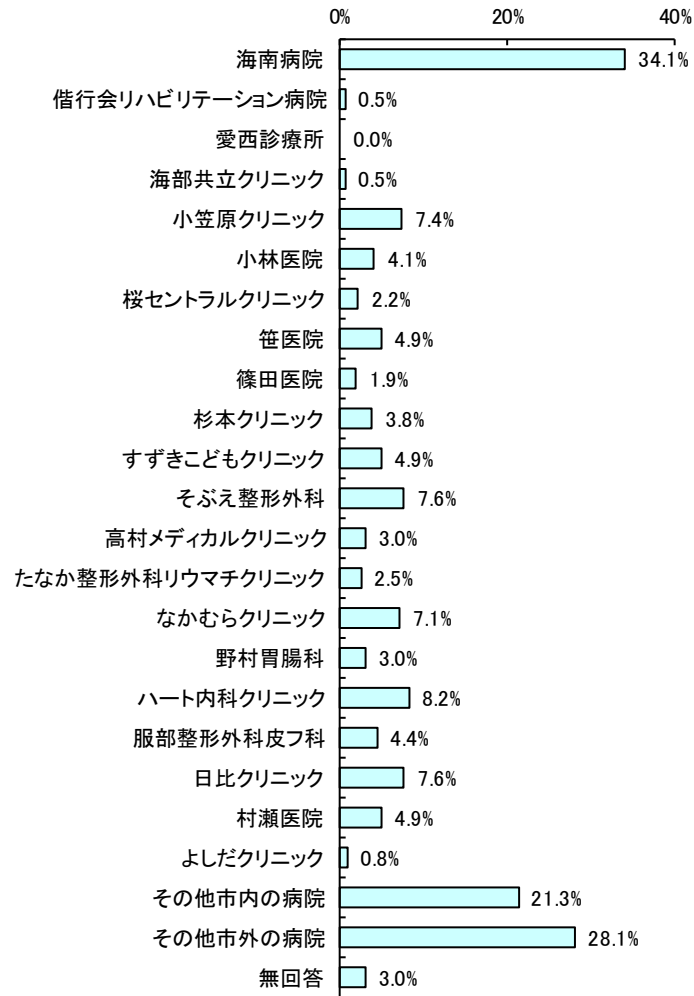




n=367

④通院する場合の主な目的地

- 「海南病院」が34.1%と最も多く、次いで「その他市外の病院」が多くなっている。

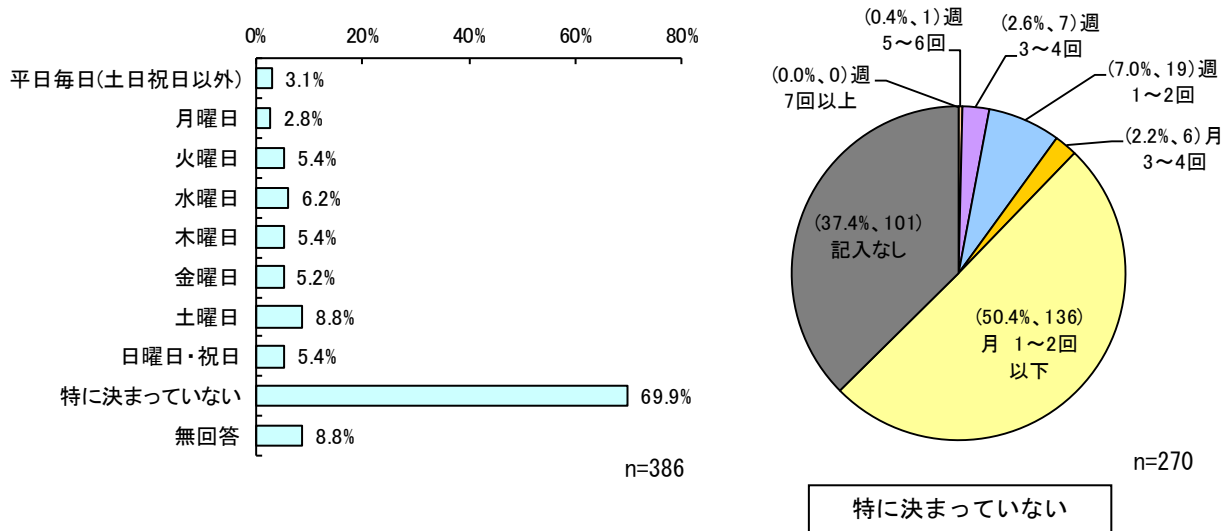


n=367

(4) 公共施設に行く場合の外出について(市役所、総合福祉センターなど)

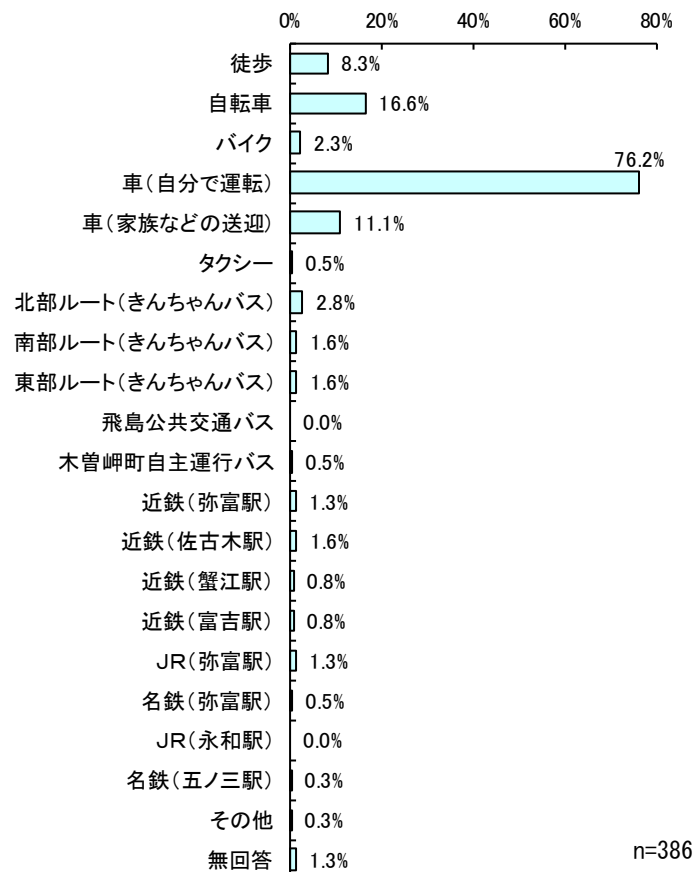
① 公共施設に行く場合の主な曜日

- 「特に決まっていない」が69.9%と最も多く、次いで「土曜日」が多くなっている。
- 「特に決まっていない」では、「月1~2回以下」が50.4%と最も多く、次いで「週1~2回」が多くなっている。



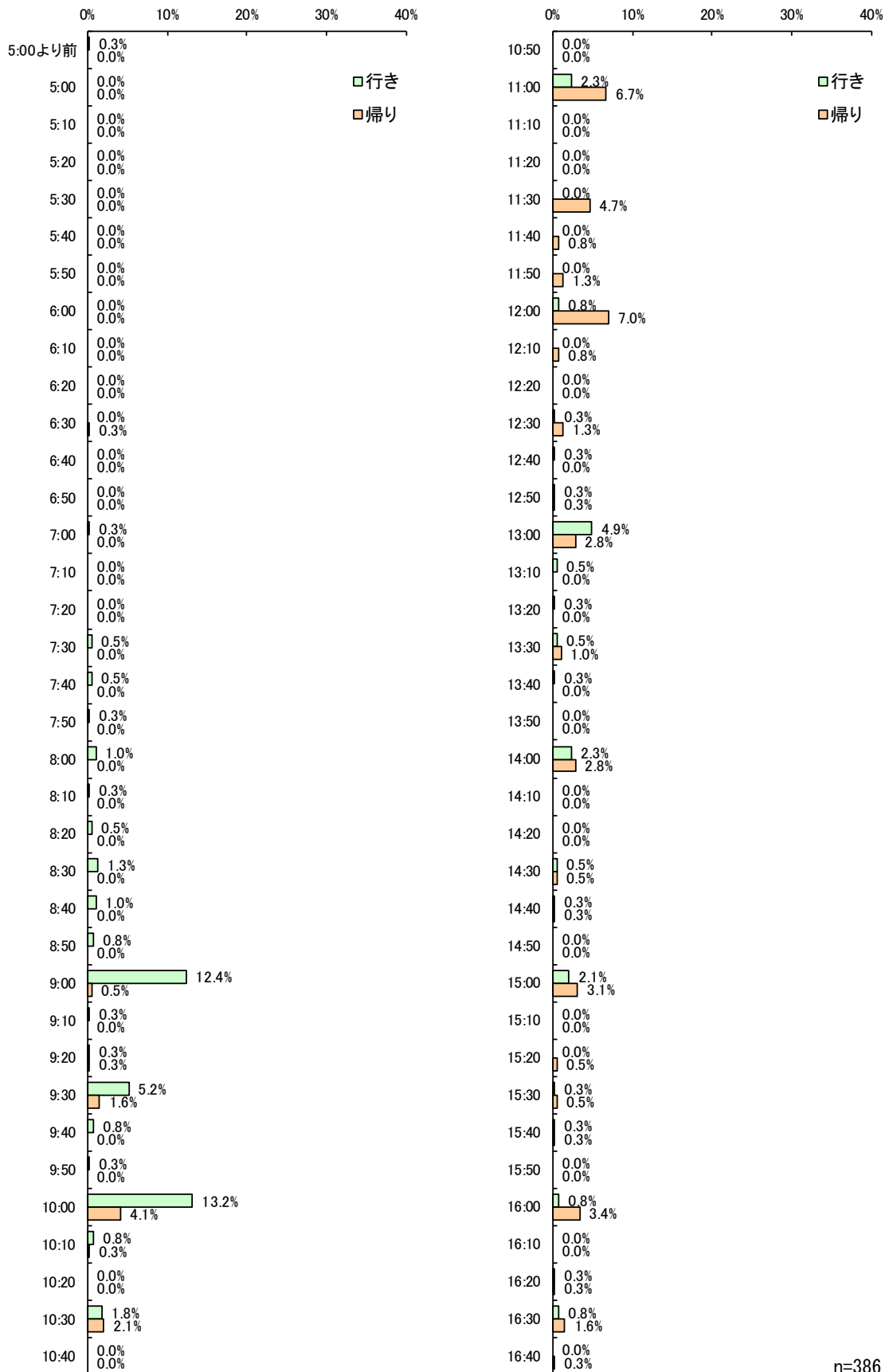
② 公共施設に行く場合の主な交通機関

- 「車(自分で運転)」が76.2%と最も多く、次いで「自転車」が多くなっている。

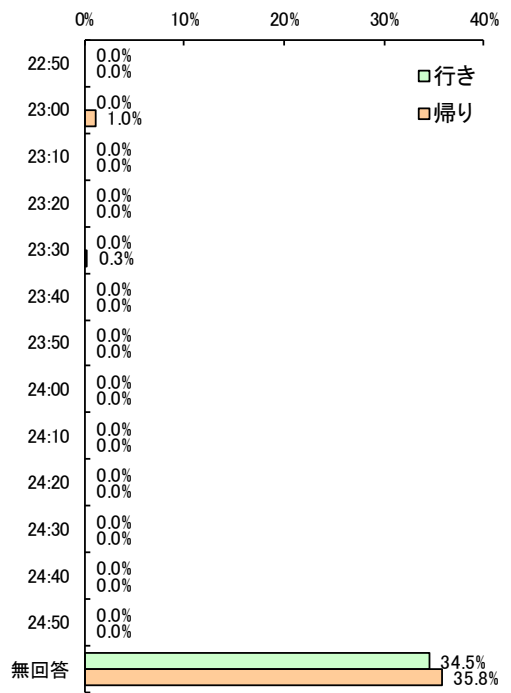
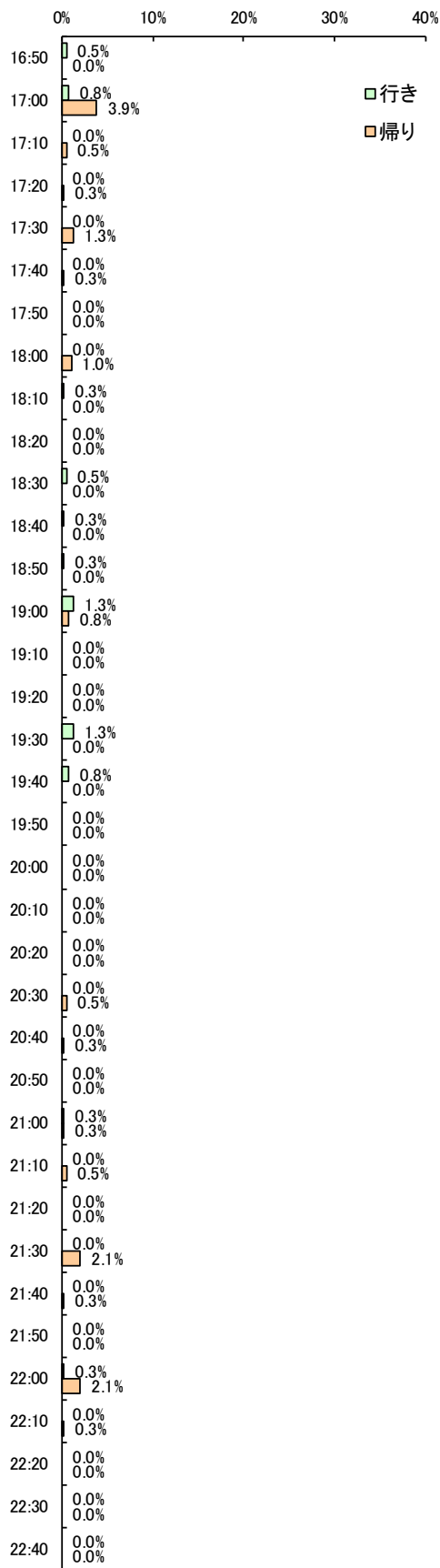


③公共施設に行く場合の主な出発・帰宅時刻

- 行きは「10:00」が13.2%と最も多く、次いで「9:00」が多くなっている。
- 帰りは「12:00」が7.0%と最も多く、次いで「11:00」が多くなっている。



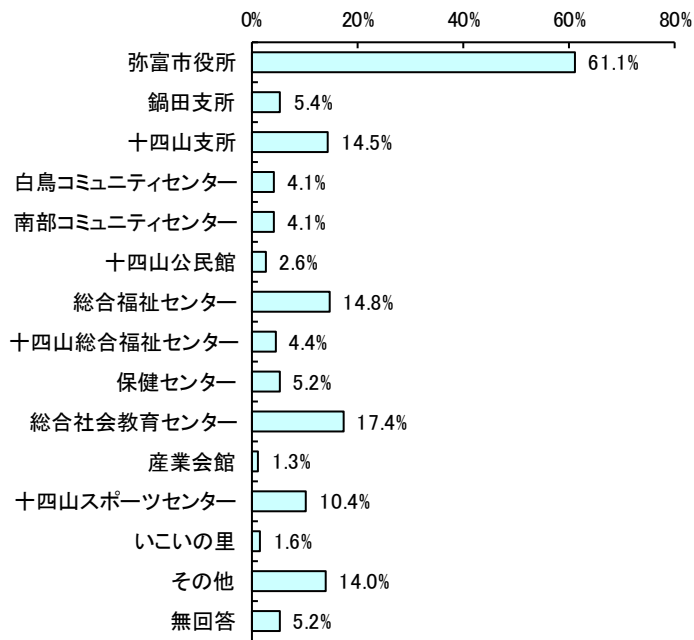
n=386



n=386

④公共施設に行く場合の主な目的地

- 「弥富市役所」が 61.1%と最も多く、次いで「総合社会教育センター」が多くなっている。

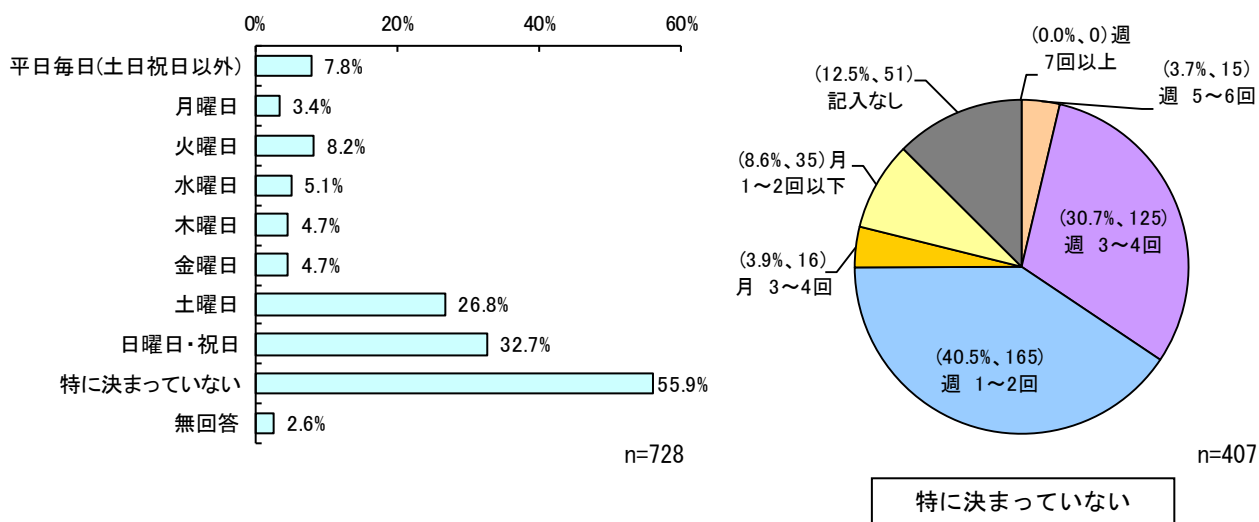


n=386

(5) 買い物する場合の外出について(外出など余暇や娯楽目的の外出も含む)

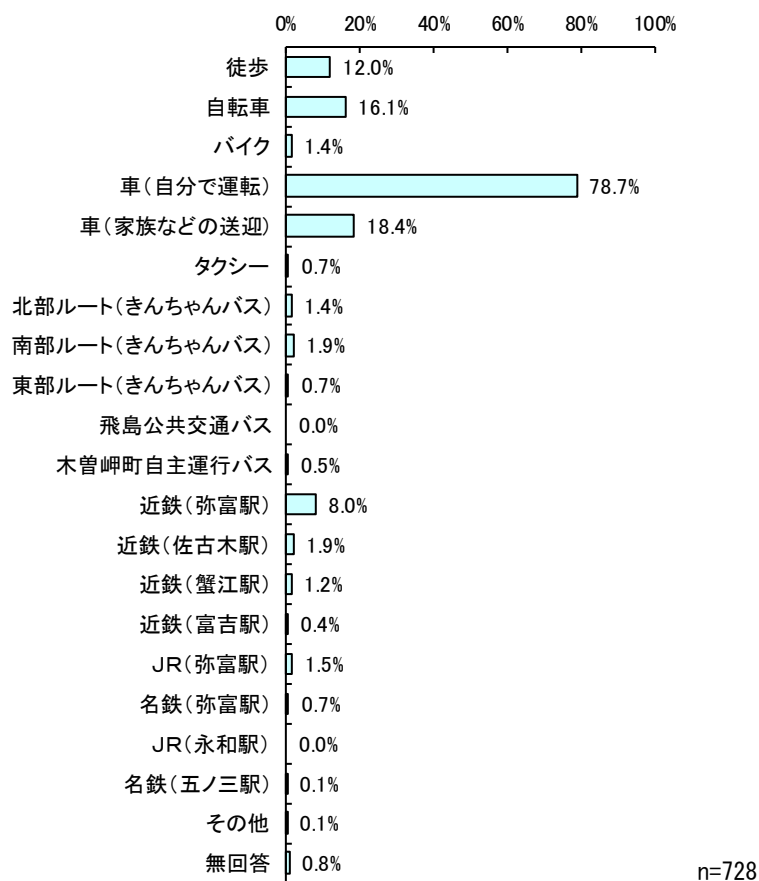
① 買い物する場合の主な曜日

- 「特に決まっていない」が 55.9%と最も多く、次いで「日曜日・祝日」が多くなっている。
- 「特に決まっていない」では、「週 1~2 回」が 40.5%と最も多く、次いで「週 3~4 回」が多くなっている。



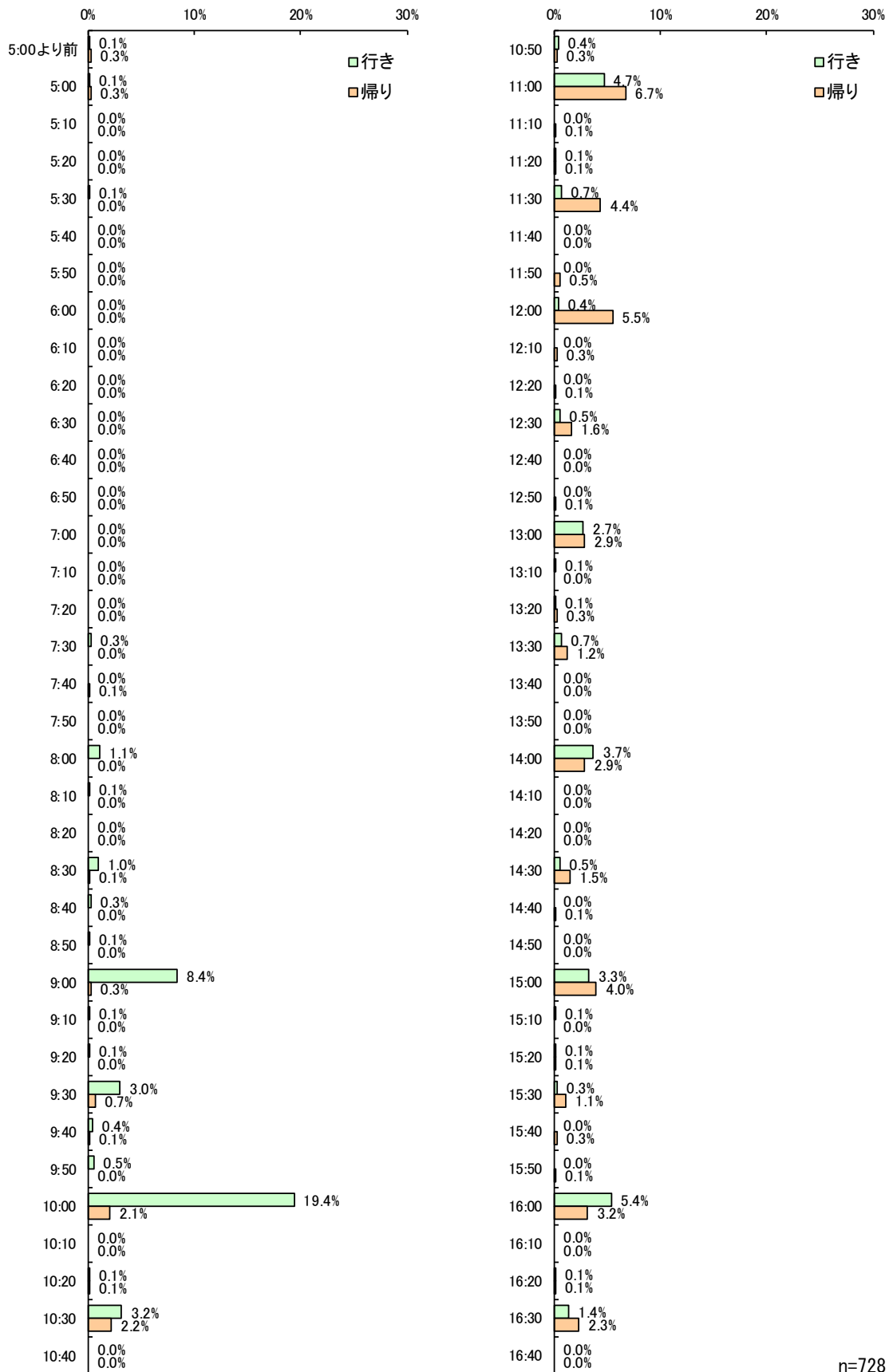
② 買い物する場合の主な交通機関

- 「車(自分で運転)」が 78.7%と最も多く、次いで「車(家族などの送迎)」が多くなっている。

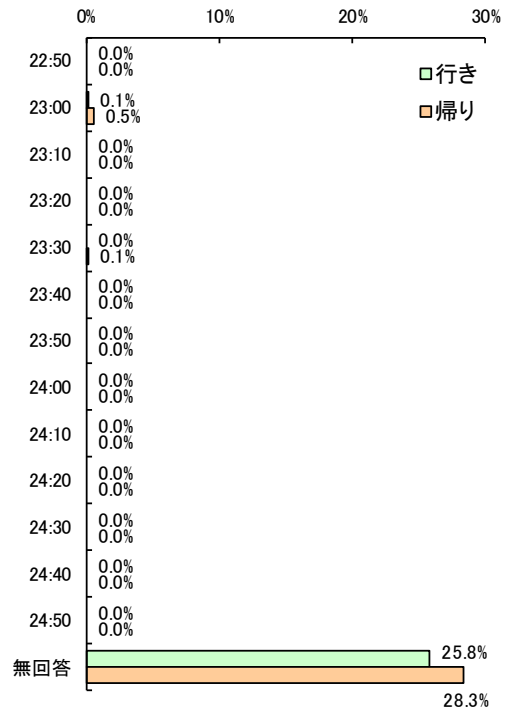
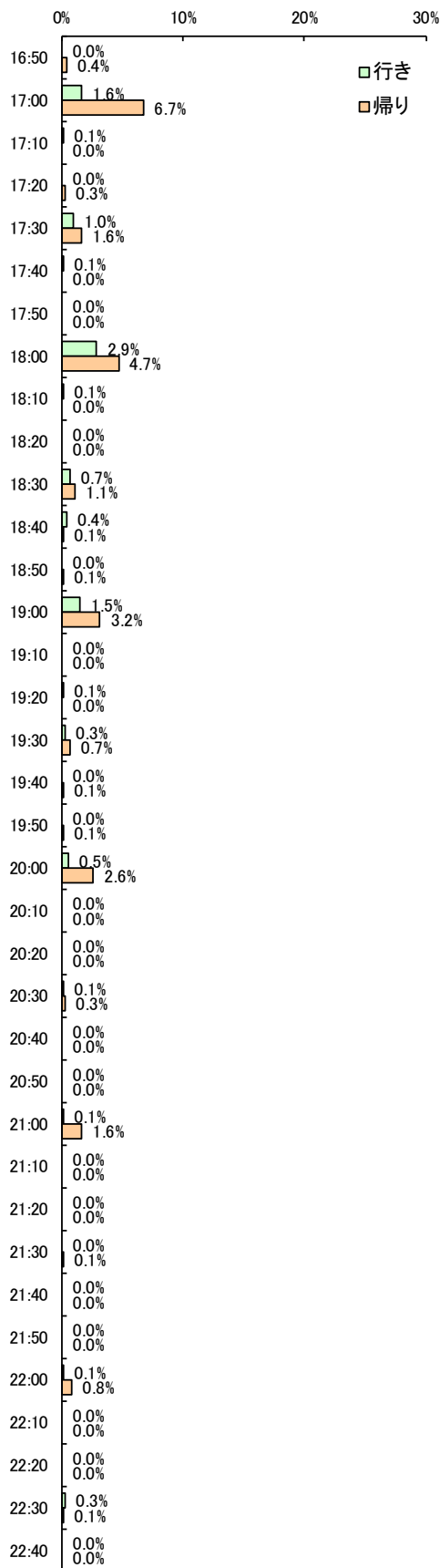


③買い物する場合の主な出発・帰宅時刻

- 行きは「10:00」が19.4%と最も多く、次いで「9:00」が多くなっている。
- 帰りは「11:00」「17:00」が6.7%と最も多く、次いで「12:00」が多くなっている。



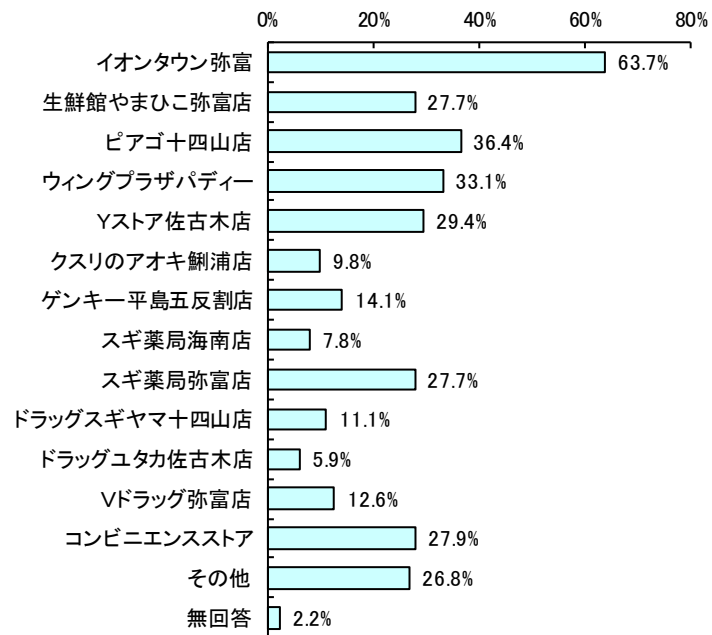
n=728



n=728

④ 買い物する場合の主な目的地

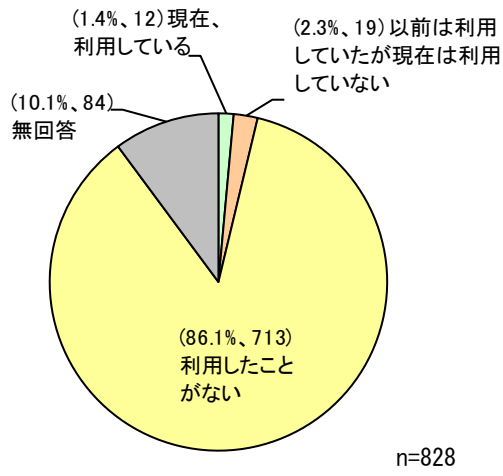
- 「イオンタウン弥富」が 63.7%と最も多く、次いで「ピアゴ十四山店」が多くなっている。



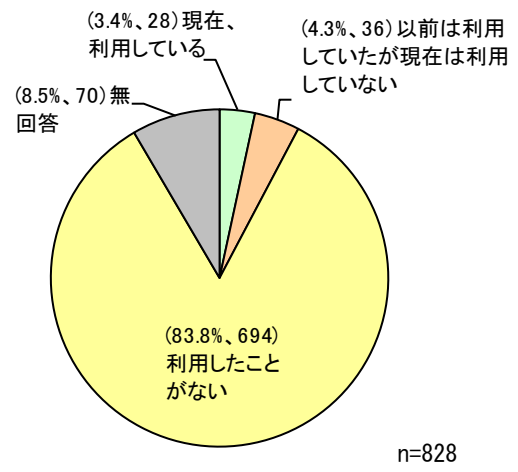
n=728

(6)現在のきんちゃんバスの利用状況

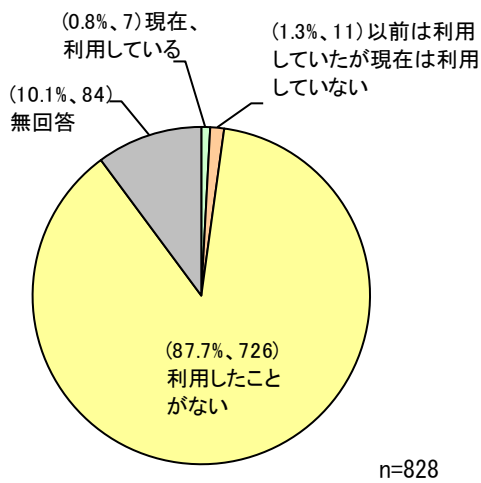
- 各ルート共に「利用したことがない」が最も多く、次いで「以前は利用していたが現在は利用していない」が多くなっている。



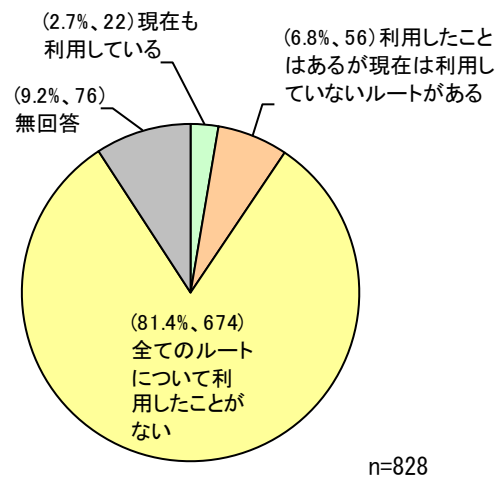
北部ルート



南部ルート



東部ルート

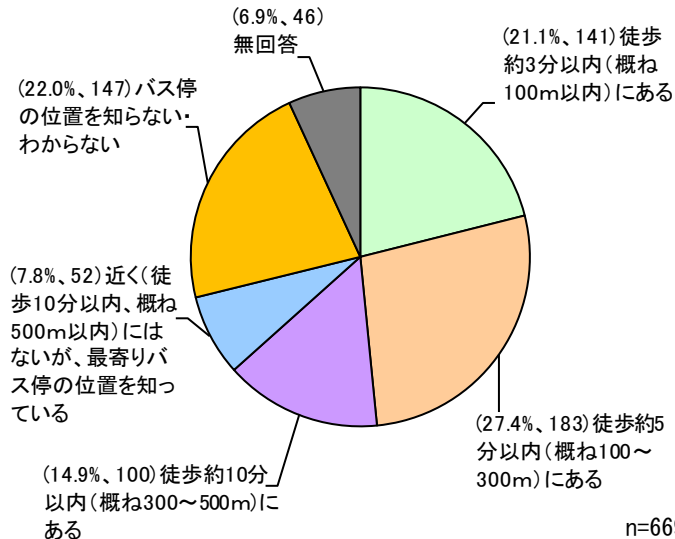


3ルート全体

(7)すべてのルートについて、利用したことがない方

①きんちゃんバスの自宅最寄りバス停の位置

- 「徒歩約5分以内(概ね100~300m)にある」が27.4%と最も多く、次いで「バス停の位置を知らない・わからない」が多くなっている。

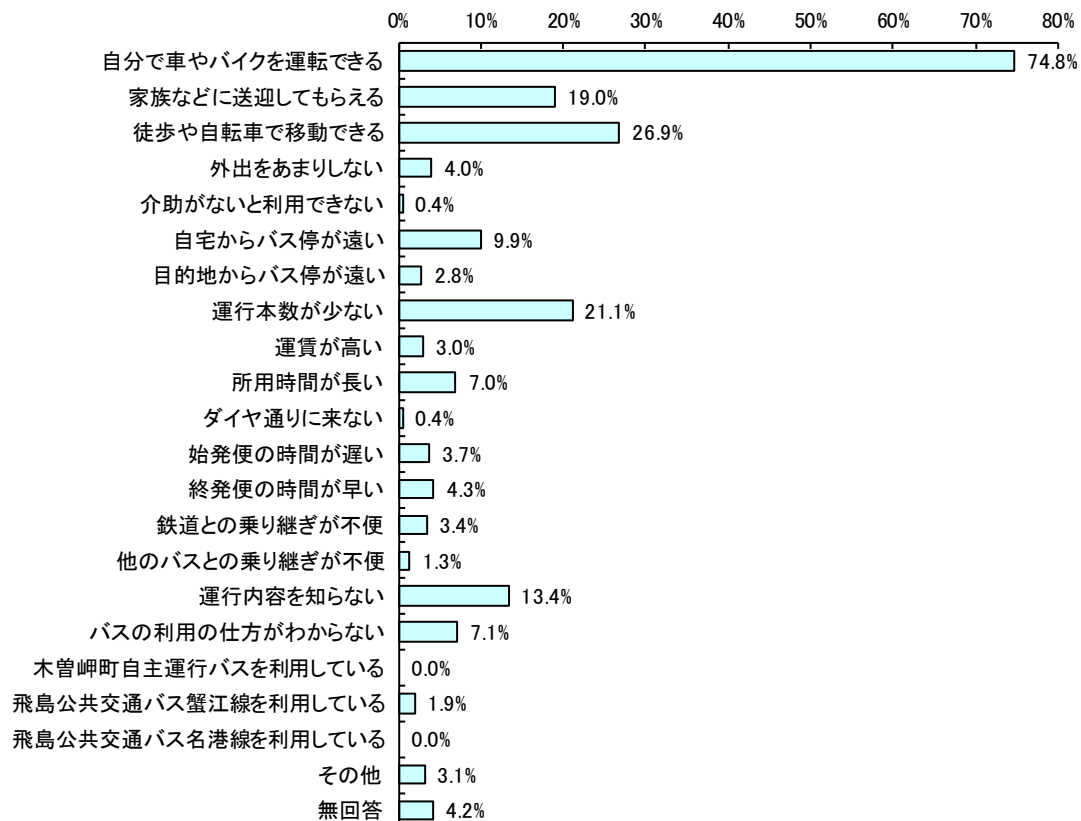


n=669

※複数回答による除外5

②きんちゃんバスを利用しない理由

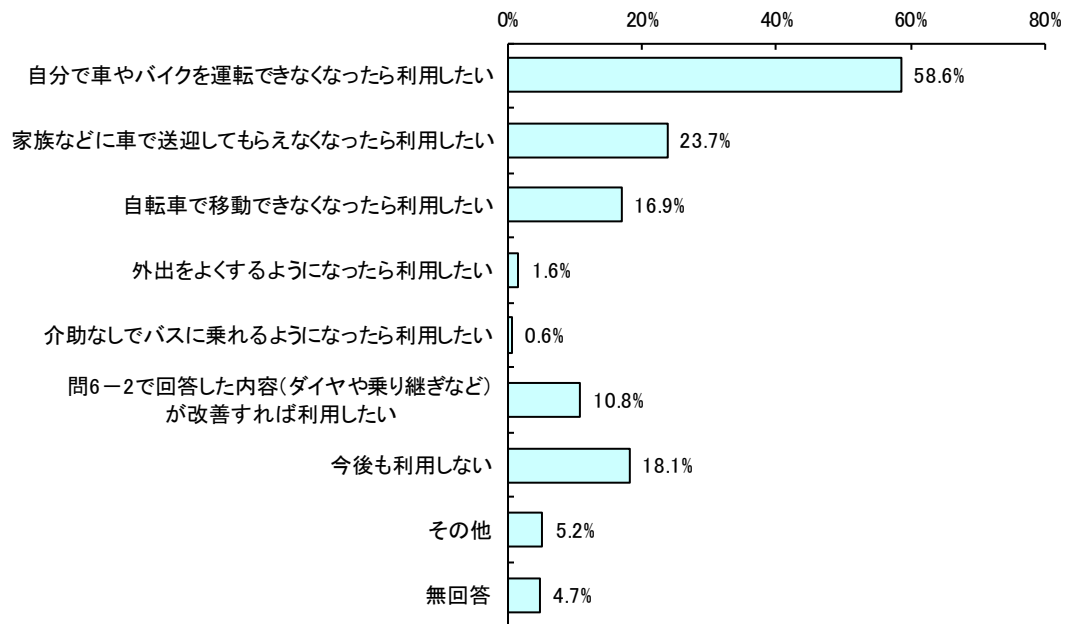
- 「自分で車やバイクを運転できる」が74.8%と最も多く、次いで「徒歩や自転車で移動できる」が多くなっている。



n=674

③今後の利用意向

- 「自分で車やバイクを運転できなくなったら利用したい」が 58.6%と最も多く、次いで「家族などに車で送迎してもらえなくなったら利用したい」が多くなっている。

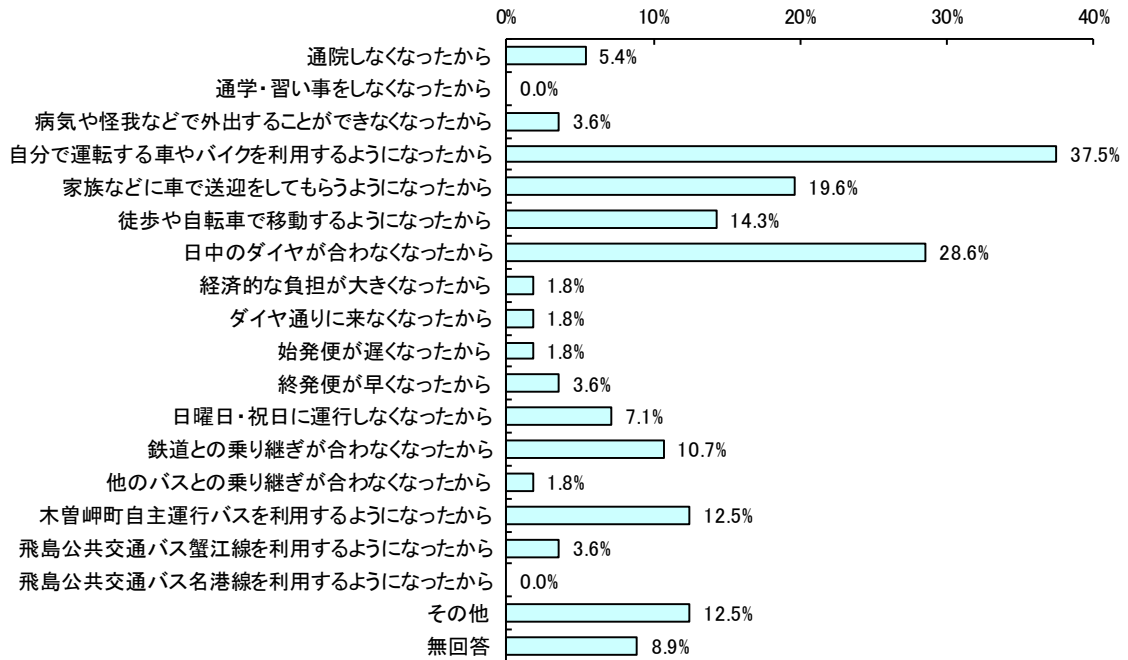


n=674

(8)過去に利用したことはあるが、1年以内に利用していないルートがある方

①利用しなくなった理由

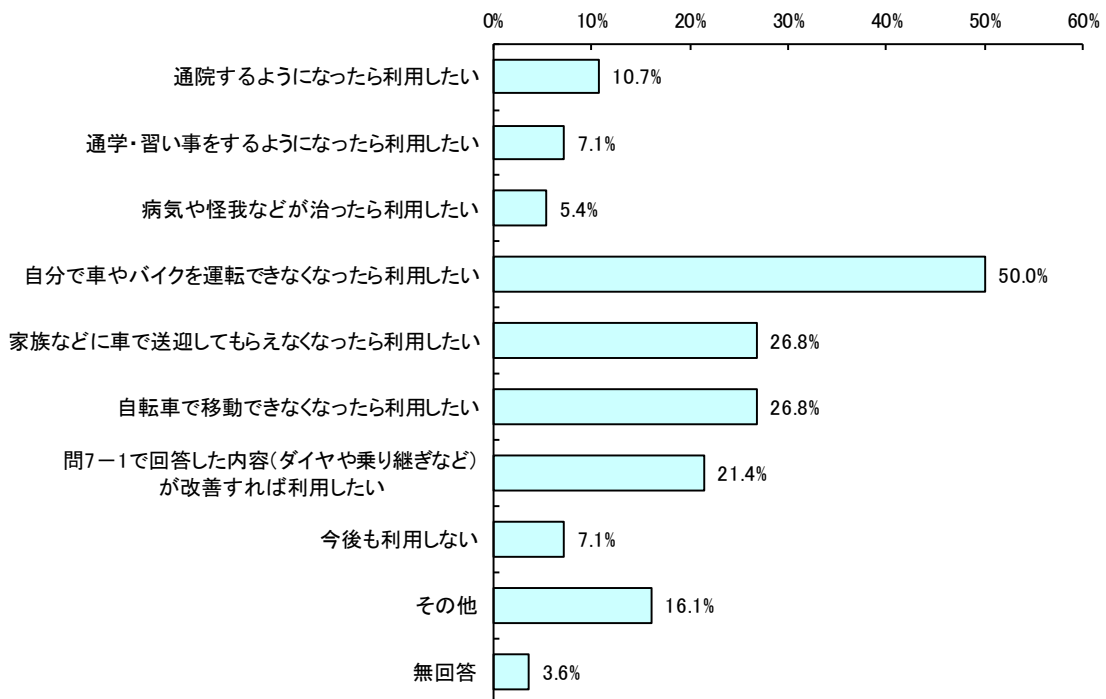
- 「自分で運転する車やバイクを利用するようになったから」が37.5%と最も多く、次いで「日中のダイヤが合わなくなったから」が多くなっている。



n=56

②今後の利用意向

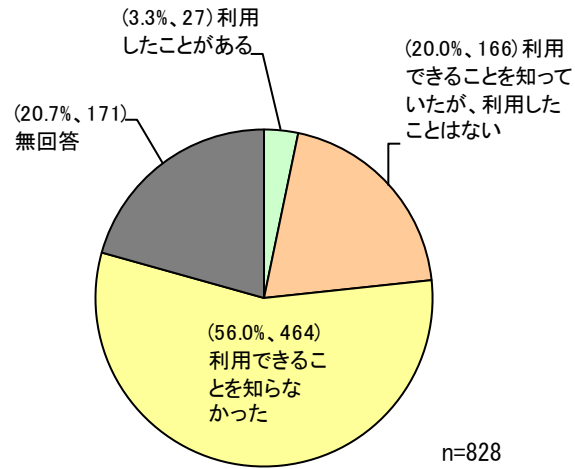
- 「自分で車やバイクを運転できなくなったら利用したい」が50.0%と最も多く、次いで「家族などに車で送迎してもらえなくなったら利用したい」「自転車で移動できなくなったら利用したい」が多くなっている。



n=56

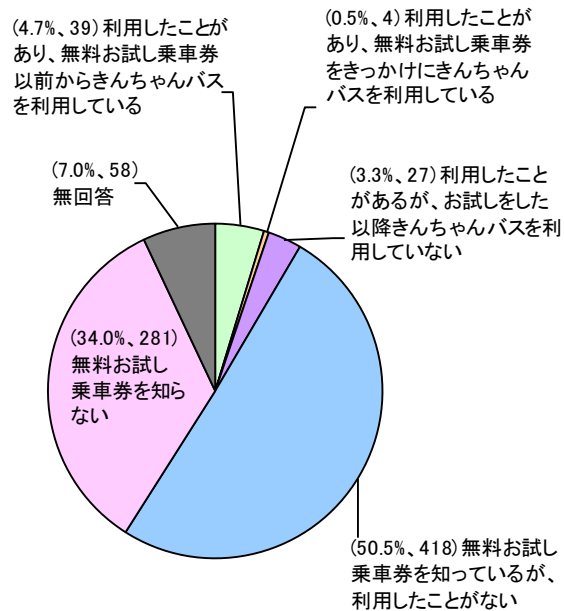
(10) きんちゃんバスを利用する際の、6 施設の駐輪場の利用状況

- 「利用できることを知らなかった」が 56.0%と最も多く、次いで「利用できることを知っていたが、利用したことはない」が多くなっている。



(11) 「無料お試し乗車券」の利用状況

- 「無料お試し乗車券を知っているが、利用したことがない」が 50.5%と最も多く、次いで「無料お試し乗車券を知らない」が多くなっている。

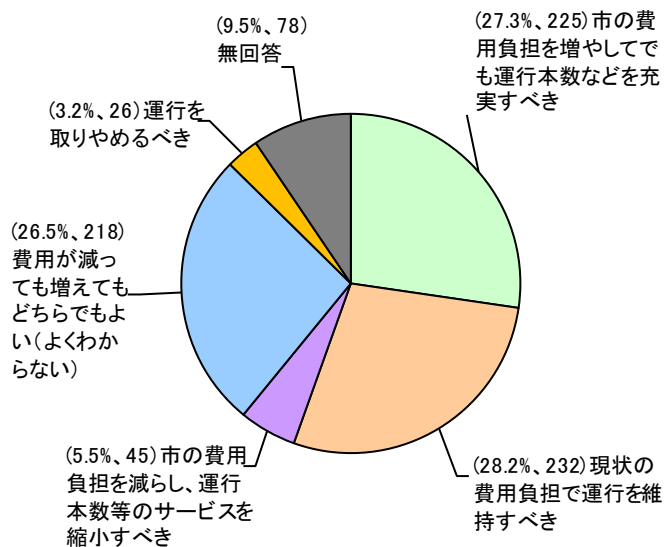


n=827

※複数回答による除外 1

(12)今後のきんちゃんバスの運行について

- 「現状の費用負担で運行を維持すべき」が 28.2%と最も多く、次いで「市の費用負担を増やしてでも運行本数などを充実すべき」が多くなっている。

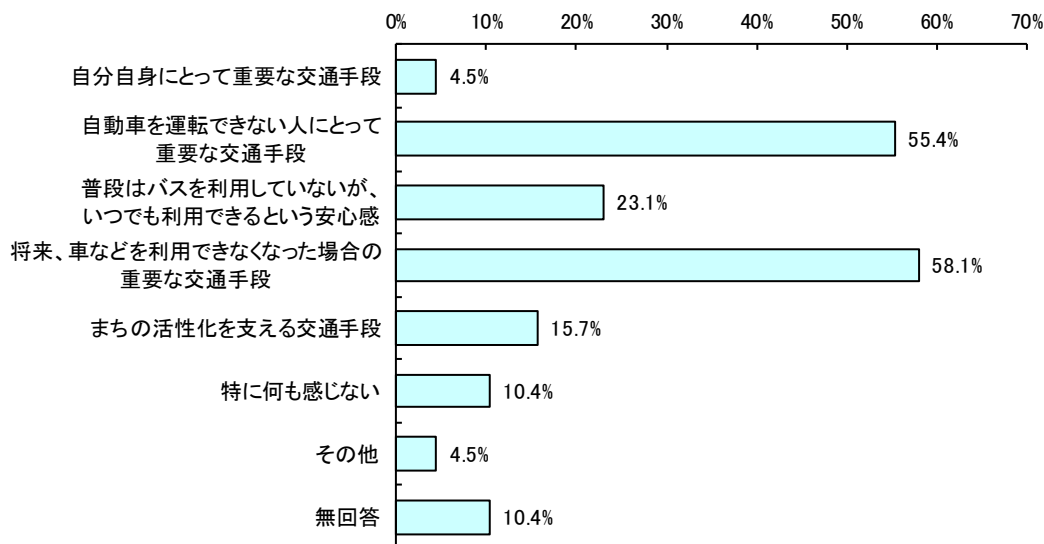


n=824

※複数回答による除外 4

(13)きんちゃんバスが運行していることで感じること

- 「将来、車などを利用できなくなった場合の重要な交通手段」が 58.1%と最も多く、次いで「自動車を運転できない人にとって重要な交通手段」が多くなっている。



n=828

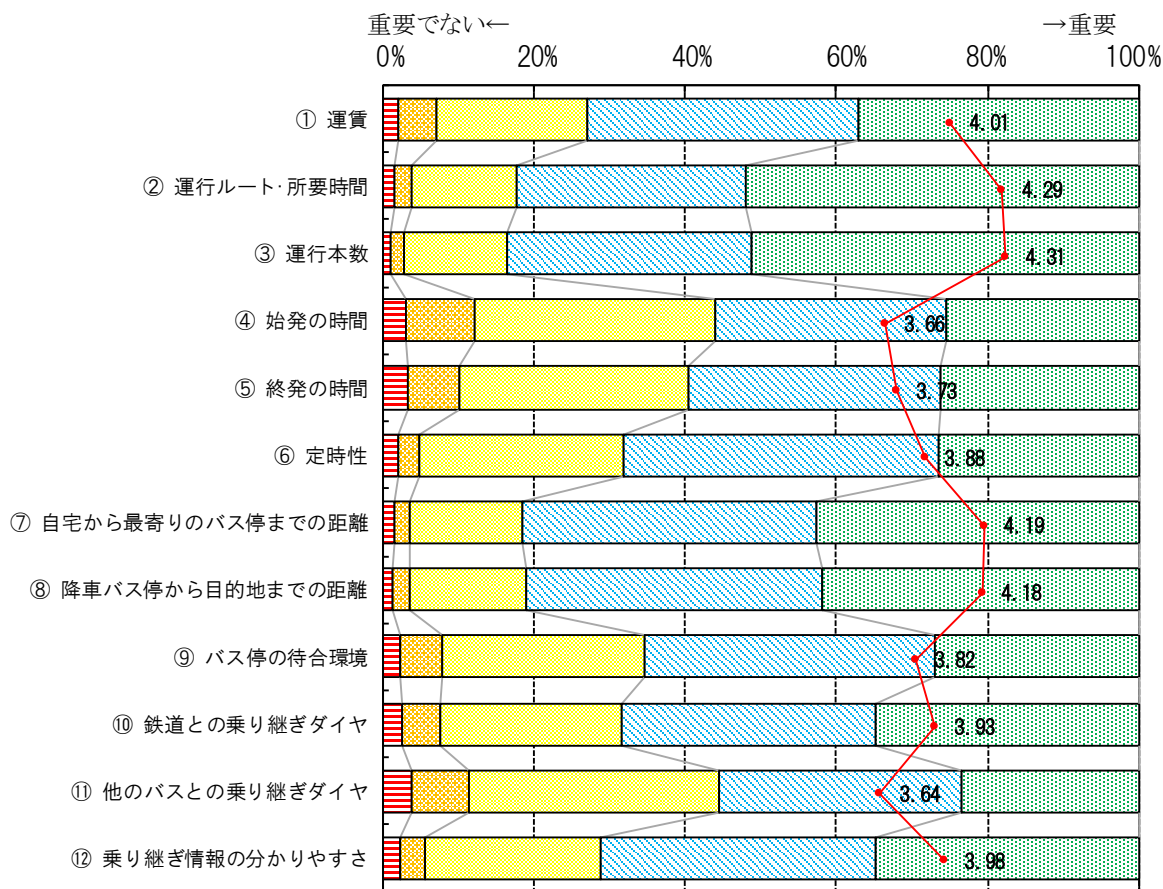
(14)きんちゃんバスにとっての重要度

- 平均値は、「運行本数」が4.31点と最も高く、次いで「運行ルート・所要時間」が多くなっている。

〔件数〕

項目	重要でない	あまり重要でない	どちらともいえない	やや重要	重要	無回答	計	平均値
①運賃	14	35	139	247	257	136	828	4.01
②運行ルート・所要時間	11	16	97	212	364	128	828	4.29
③運行本数	8	12	95	227	358	128	828	4.31
④始発の時間	22	62	221	213	176	134	828	3.66
⑤終発の時間	22	48	208	230	181	138	827	3.73
⑥定時性	14	19	183	281	179	150	826	3.88
⑦自宅から最寄りのバス停までの距離	10	15	105	271	299	128	828	4.19
⑧降車バス停から目的地までの距離	9	16	107	271	289	135	827	4.18
⑨バス停の待合環境	16	38	186	266	187	134	827	3.82
⑩鉄道との乗り継ぎダイヤ	17	36	164	231	238	142	828	3.93
⑪他のバスとの乗り継ぎダイヤ	26	51	225	217	159	150	828	3.64
⑫乗り継ぎ情報の分かりやすさ	15	24	158	249	239	143	828	3.98

※平均値（重要でない・・・1、あまり重要でない・・・2、どちらともいえない・・・3、やや重要・・・4、重要・・・5）

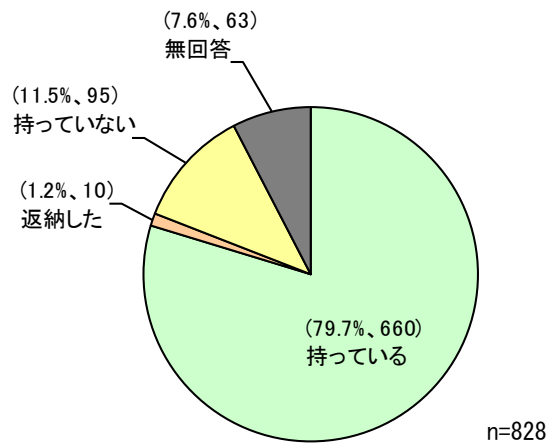


■重要でない ■あまり重要でない ■どちらともいえない ■やや重要 ■重要

※折れ線は平均値。無回答は除く。

(15)車・バイクの運転免許の保有状況

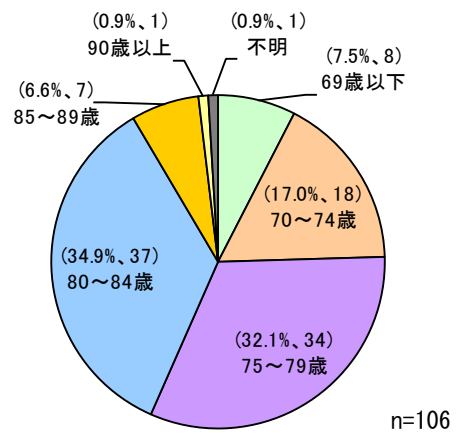
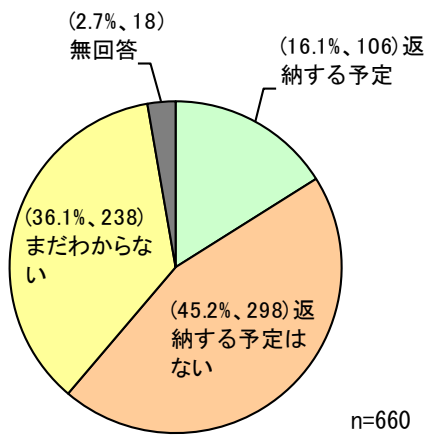
- 「持っている」が79.7%と最も多くなっている。



(16)車・バイクの運転免許を持っている方

①運転免許の返納意思

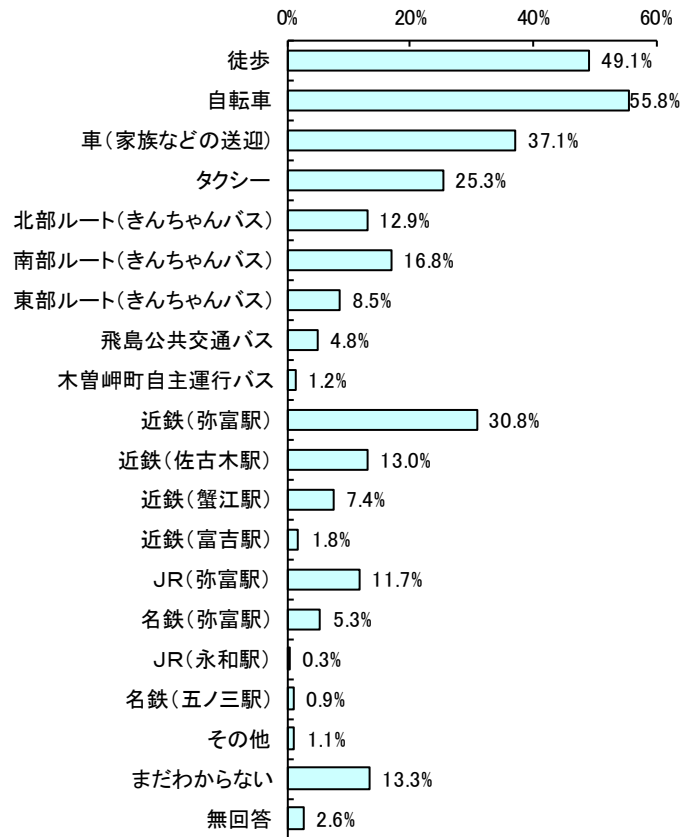
- 「返納する予定はない」が45.2%と最も多く、次いで「まだわからない」が多くなっている。
- 「返納予定年齢」は、「80～84歳」が34.9%と最も多く、次いで「75～79歳」が多くなっている。



返納予定年齢

②運転免許を返納した場合の主な交通手段

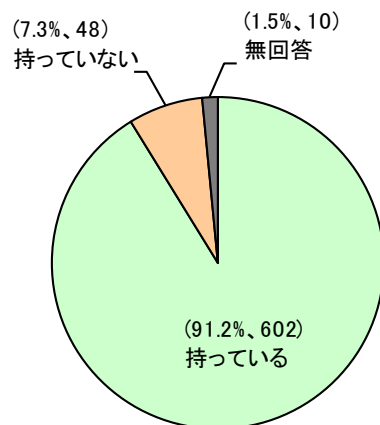
- 「自転車」が55.8%と最も多く、次いで「徒歩」が多くなっている。



n=660

③自分で自由に使える車・バイク

- 「持っている」が91.2%と最も多くなっている。



n=660

4-2 住民意見交換会

4-2-1 開催概要

- 各地域の日常的な移動や公共交通に関する問題点のほか、意向等を把握し、弥富市地域公共交通網形成計画見直しの基礎資料とするため、住民意見交換会を実施した。
- 参加者は、本市 HP や市広報誌、地域公共交通講演会などで募集した。
- 第 1 回終了時には、無料乗車券 2 枚を配布し、第 2 回時には実際の利用体験を通じた意見交換を実施した。
- 開催状況は下表の通りである。

住民意見交換会開催概要

対象	きんちゃんバスの各ルートに応じ 3 つの地域に区分し開催 ・北部地域：弥生小学校区、桜小学校区、日の出小学校区、白鳥小学校区 ・南部地域：大藤小学校区、栄南小学校区 ・東部地域：十四山東部小学校区、十四山西部小学校区		
方法	ワークショップ形式(WS)での住民相互の意見交換		
概要	内容 (1 時間 30 分程度)	開催時期	参加者数
第 1 回	1)公共交通の現状を知ろう！(事務局説明) 2)公共交通の役割を考えよう！(WS) 3)将来の公共交通の課題を考えよう！(WS) 4)意見をみんなで共有しよう！(発表) →無料乗車券配布(2 回分)	北部：令和元年 11 月 30 日(土)	14
		南部：令和元年 11 月 16 日(土)	20
		東部：令和元年 12 月 7 日(土)	8
第 2 回	1)第 1 回の復習をしよう！(事務局説明) 2)公共交通に乗った感想を話そう！(WS) 3)公共交通で結ぶべき施設や行きたい施設をまとめよう！(WS) 4)意見をみんなで共有しよう！(発表)	北部：令和 2 年 1 月 18 日(土)	9
		南部：令和 2 年 1 月 25 日(土)	15
		東部：令和 2 年 2 月 1 日(土)	8

住民意見交換会の様子



4-2-2 第1回意見交換会の主な意見

(1)公共交通の役割を考えよう！

- 「公共交通の役割を考えよう！」では、各公共交通が、どのような目的の移動をターゲットとするか議論いただいた。
- 鉄道の主なターゲットは「通学」「通勤」「買い物」「観光」が多い。
- きんちゃんバスの主なターゲットは「通学」「通院」「買い物」「総合福祉センター・十四山総合福祉センター」「市役所・支所」など多岐に渡る。
- タクシーの主なターゲットは「通院」が多い。
- その他、飛島公共交通バス蟹江線のほか、現在は運行のない乗合タクシーなどについても利用意向があった。

各公共交通のターゲットに関する意見数（全体）

	鉄道	コミュニティバス (きんちゃんバス)	タクシー	タクシー (貸切・乗合)	福祉タクシー	家族の送迎	飛島バス (蟹江)
通学	27	13				1	4
	1	10	1				
		7		1			
通勤	27	8					4
	2	10	1				
		7		1			
通院	7	27	20	3	1		
	7	7	7	2			
		4		2			
買い物	10	19	7	3			1
	9	8	5	1			
	3	8	2				
総合福祉センター 十四山総合福祉 センター		18		1			
		3	2	1			
		3	2				
市役所・支所		14	2	4			
		10	9	1			
		7	3				
その他公共施設		10	1	2			
	1	10		2			
		2	5	3			
観光	15	3					
	3	6					
	3	9	6				1
飲み会	1					1	
		2					
			1				
帰省	2						
余暇	5		1				
			2				
		1					
競馬場		1	1				1
		2					
	3	2					
高齢者		7	6				1
		3					
		1					
災害時							
習い事	1						

- 地域別に見た場合、きんちゃんバスでは、南部地域は「通学」「通勤」「高齢者」、東部地域では、現在是对応していない「通学」などをターゲットとする意見が多くなっている。
- 北部地域では、現在は運行していない「乗合タクシー」による「通院」「買い物」「市役所・支所」への移動をターゲットとする意見が多くなっている。

地域別の各公共交通の主なターゲット

上段：北部地域
中段：南部地域
下段：東部地域

	鉄道	コミュニティバス (きんちゃんバス)	タクシー	タクシー (貸切・乗合)	福祉タクシー	家族の送迎	飛鳥バス (蟹江)
通学	○ ○ ○	○ ○					○
通勤	○ ○ ○	○					○
通院	○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○			
買い物	○	○ ○ ○	○	○			
総合福祉センター 十四山総合福祉 センター		○ ○					
市役所・支所		○ ○		○			
その他公共施設		○ ○					
観光	○ ○ ○						
飲み会							
帰省							
余暇	○						
競馬場							
高齢者		○	○				
災害時							
習い事							

(2) 将来の公共交通の課題を考えよう！

- 「将来の公共交通の課題を考えよう！」では、先の「公共交通の役割を考えよう！」で主なターゲットとして多くの意見があった移動を中心に、将来を含めた課題について議論いただいた。

①北部地域

- 運行本数の少なさや乗車時間の長さ、車両の小型化に関する意見のほか、ベンチの設置などバス停の待ち合い環境に関する意見がある。
- 通勤に対するタクシーの相乗り運行や、通院や買い物に対するデマンド運行の導入などの意見がある。
- 観光に対する休日やイベント時の運行に関する意見がある。

将来の公共交通の課題（北部地域）

	利便性について	利用者確保について	その他
通学	時間があわない	夜タクシー	
通勤		タクシーの相乗り運行	
		タクシーの団体割引、定額制	
通学	親・家族の送迎に頼っている	小学校を統合したら通学バスと併用	
通勤	雨の日に送迎の車で混む	朝夕は駅まで早く着くように	
	始発が遅く、終便が早い	朝・夕は停車バス停を減らし、基幹バスのように時間短縮	
		乗車時間が長い	
		車両を小型化し、運行本数増	
通院		一般車でのUber試行	
買い物		デマンドでの乗合運行	
		新聞配達並に各戸で送迎できるサービス	
買い物	デマンドでの乗合運行		
総合福祉センター	利用する年齢層が“超”限定的		
市役所・支所		手続きが必要なら職員が家に訪問して手続きするサービス	
		支所に止まらない	
通院	1時間に1本運行	バス停の増加	バスの小型化
買い物	コミュニティセンターから海南病院に直行	バス停間隔を短く(100～200メートル)	台数を増やす
総合福祉センター	大型スーパー買物便	北部地区の真ん中の方にバス停を多く	
	乗継ぎができない	運行距離を短く	
観光		海浜こどもの国、野鳥園への日曜日運行	
		シーズン限定のダイヤ運行	
		休日観光ルートの設定	
		毎年定期的開催されるイベント時にバスを運行	
全般	乗車時間が長い	1時間に1本運行	Maasの導入
	本数が少ない	運賃を100円に値下げ	
	自宅から最寄りの停留所が遠い	周辺市町村との連携（一本化）	
	停留所にベンチ	家の近くまで来てほしい	
	安心して乗れるダイヤ	時間的に便利であればよい	

②南部地域

- 北部地域と同様に運行本数の少なさや乗車時間の長さ、車両の小型化に関する意見がある。
- 近鉄蟹江駅への運行や、タクシーと連携した運行、ICカードの導入などの意見がある。
- 南部コミュニティセンターと連携し、駐車場の有効活用（パーク&バスライド）や南部コミュニティセンターへの幹線運行などの意見がある。

将来の公共交通の課題（南部地域）

	利便性について	利用者確保について	その他
通学	時間帯の本数の見直し	天気の悪い時に利用する高校生がいる	
	運行本数増	バス停を分かりやすく	
	時間、タイミング	ICカードの導入（高校生利用に対応）	
		黎明高校との運賃差をなくす 大人以外は無料（学生等）	
通勤	朝（6時～8時）夕（19時～21時）の本数増	車両を小型化し、運行本数増	バス停の間への停車
	自由乗降	バス停位置の見直し	
通学 通勤	午前はOK	南部コミュニティセンターとの連携	ルートが長い
	利用時間の多い時間帯や午後の運行本数増	南部コミュニティセンターの駐車場の借用	ルートの見直し
	最終便が早い	南部コミュニティセンターへの直行便（幹線）	バス+タクシー、公共交通利用の見直し
	乗車時間が長い		夜遅くまで運行
	蟹江駅へ行ってほしい		
	名古屋へ直接行くルート（港の駅を利用）		
	直行便をつくる（時間短縮）		
	タクシーのシェア、高齢者向け		
通院	行きたい時間に行ける（便数を増やす）	自治会での話し合いによる利用のPR	
	自由な乗り降り（場所）	バス停に駐車場、駐輪場を設置	
	通院に合ったダイヤ	バス停にベンチ・屋根	
		2～3地区ごとにまとめて乗車する	
買い物	運行距離が長く、時間がかかる	ルート間で自由な乗り降り（場所）	
	買い物・朝（午前中）・夕方	ICカード、ポイント付与、分かりやすい時刻表	
	利用の少ない時間を削減し、朝・夕を重点的に	割引券配布	
	昼は買い物に特化した運行		
その他 公共施設		高齢者は無料	
観光	最終便が早い	競馬場へのアクセス	
高齢者	バス停までが遠い	60歳以上の無料化	
		車の免許返納者の利用促進	
		バス停にベンチ・屋根	
全般	目的地までの時間がかかる（全体）	利用者が少しずつ増えている	マイカーを利用している
	運行本数が少ない	バスを小型化にして公民館などへ	現状でよいと思っている人もいるのでは
	ドアtoドアやデマンド方式の導入	市のイベントに合わせて無料券を配布	廃止はしない
	屋間は6～8人乗りのタクシー、シェアカー	ゴミゼロに出席した人への無料券配布	未利用者の乗車体験を通じた意見収集
	桑名、蟹江の方が近い		

③東部地域

- 通勤、通学に対応した朝夕の運行や病院バスの運行、高齢者の有料化などの意見がある。
- バス停までの輸送手段の確保や福祉タクシーの充実などの意見がある。

将来の公共交通の課題（東部地域）

	利便性について	利用者確保について	その他
通学		通学時間の運行がない	駅から高校へ直通
		朝・夕の便、特に朝便の増加	朝・夕の学生対象のバス増便
		少なくとも17時台まで運行	定期券で利益を増やす
		佐古木駅利用が多い	
通学・通勤	鉄道ダイヤとの連携	最終便を遅らせて、学生・働く人が利用できるようにする	
	自転車・徒歩が早い、バスを使うと遅い		
通院	海南病院、9時に行くのと帰りは12時くらい	個人病院へのバス停設置 ・ハート内科・中村眼科	高齢者有料化 1コイン
	帰りの便に合わせて診療してほしい(時間がかかりすぎる)	運行本数が少ない 行はよいが帰りが少ない	全ての地域を周るのは無理
	バス停までの輸送手段(相乗り)の確保	障害者対応のバスにする	福祉タクシーの充実
	学区単位で運行	バス停を増やす	民間の福祉タクシーは高い
	バス停が遠い	病院をよく利用する人の家の近くに停まるようにする	集落の中へのバス停設置
	病院への直通バス		自由乗降
	なるべく短いルートに		
買い物	荷物が多いため利用しない		
十四山総合福祉センター		特に問題ない 自分のペースで利用	

4-2-3 第2回意見交換会の主な意見

(1)公共交通に乗った感想を話そう！

- 問題点として、バス停の多さやルートによる乗車時間の長さ、帰りのダイヤ、バス待ち環境、乗降のしにくさなどの意見がある。
- 良かった点として、運転手の対応の良さや時間の正確さ、コミュニティの形成などの意見がある。
- 乗らなかった方の理由として、時間がかかるや時間がない、目的がないなどの意見がある。
- 今回の利用者の中には、バスの旅のプランを作成し、イオンタウンでの食事やいこいの里での娯楽などを楽しんだグループもあった。

住民意見交換会開催概要

問題点	良かった点	乗らなかった理由
バス停が多いので目的地へ行くのに時間がかかり過ぎる	運転手の対応が丁寧、やさしい	時間がかかる
バス停が多すぎる	運転手に「お疲れさまでした」と言われると気分が良い	休みがほとんどないため
次のバスの時間が気になって困った	乗り心地がよかった	テストが近かった
帰りのバスの時間が分かりにくい(時刻表を持っていかねばならない)	久しぶりの友人に会い、帰りは40分が苦にならなかった	きんちゃんバスに乗って行く場所がない
利用者が少ない	時間が正確	用事がなかった
蟹江警察に行くのは意味がない →蟹江警察署は移転	良いコミュニティの場になっている	桑名住みなのでわざわざ来る目的がなかった
本数が少ない	同時間の乗車の方と顔なじみになる	人と接するため、冬は特に感染症になる恐れがあるため避けてます
帰りのバスの時間が合わない	時間に余裕のある人にとってはいい乗り物	時間がない
忙しい人は乗りづらい	三交バスの時と比較し便利になった	平日は仕事で乗れなかった
家の近くで手を挙げてバスをとめたい	料金が安くなった	自分の車で行ったほうが早い
家からバス停まで遠い	お酒が飲める	行く場所が決まらない
バス停までのアクセスが遠い	朝の時間帯は、大人数乗車していた	時間が合わない
待つ所に夏など屋根や風防があるとよい	目的地に間に合うように乗車時間を合わせて使用していた	
バス同士の乗り換えがしにくい	海南病院は屋根がある。乗り換えしやすい	
ルートがわかりにくい	乗車時、子どもが乗っていて楽しかった	
海南こどもの国へ行く必要があるか(時間を短縮)。中学校の周りを回っている感じ	駐車場に困らない	
最終時間が早い	駐車場代がかからない	
日曜日が運休	公共の場所へ行くのはよい	
木曾岬町のバスの方が早い	バスの待ち時間でイオンタウンで食事ができた	
乗り継ぎができる便が少ないが、イオンタウンに行けばできる	こんなところを走っているのかと新発見が多かった	
あらかじめどう乗り継ぎするか考える必要がある	楽しかった	
バスの休憩場所をいこいの里にしてほしい。今は鍋田公民館	高速バスより定期代が安い	
車両の段差が大きく乗り降りがしにくい。通路が狭い。	車がない人にとっては便利	
バスの待ち時間が長い時、時間の過ごし方がわからない。プランが欲しい。	電車は大学へ行くのに便利(桑名→名古屋)	
シルバーカー、車いすが一人では乗れない		
自転車が載らない		

(2)公共交通で結ぶべき施設や行きたい施設をまとめよう！

①北部地域

- 行きたい施設は概ね各班とも同様の傾向となっており、市中心部の公共施設や商業施設、海南病院のほか、東部地域の十四山総合福祉センターへの要望もある。
- 8 の字で運行する案や空白地を迂回する案、幹線化して空白地をデマンドで運行する案などが提案されている。

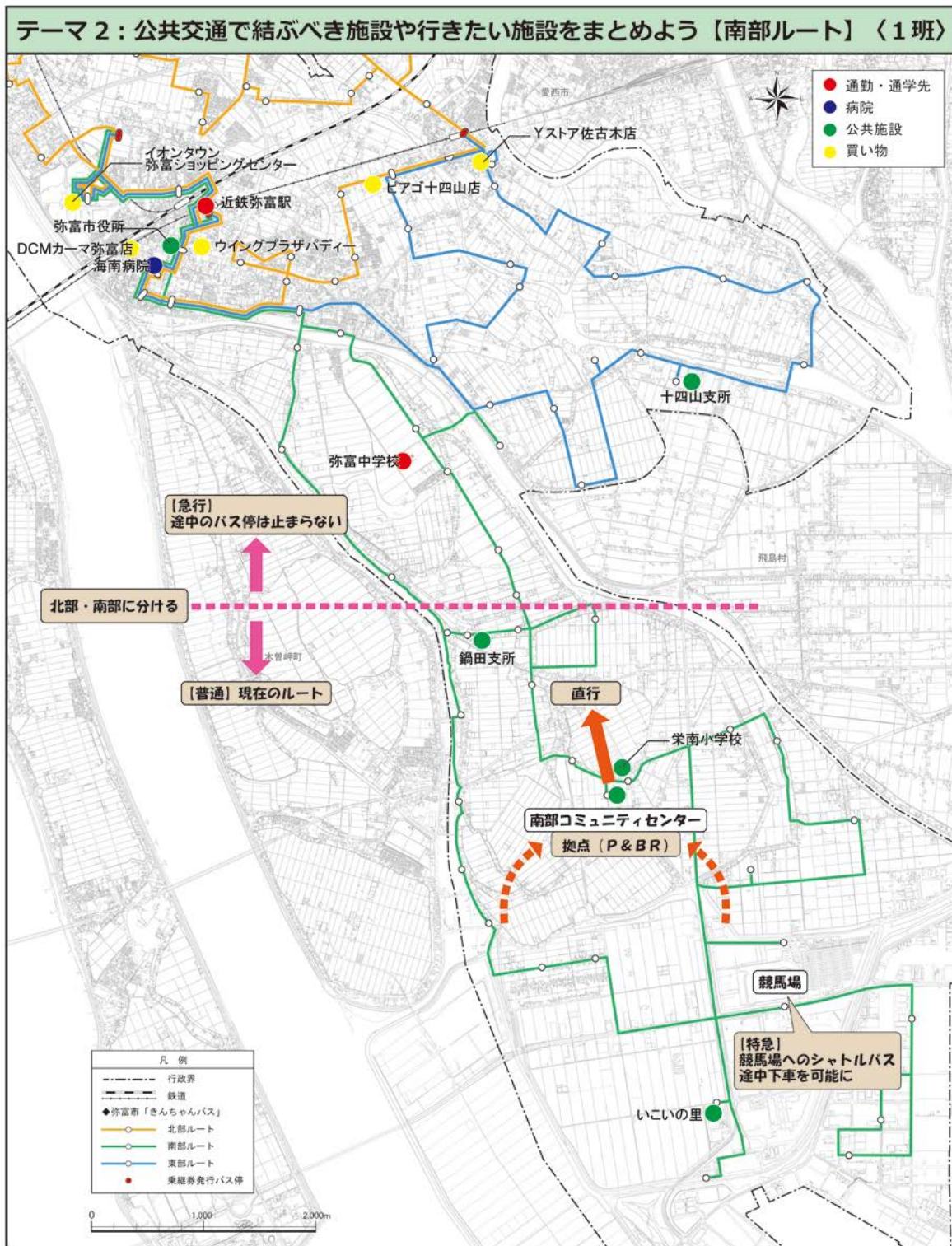
公共交通で結ぶべき施設や行きたい施設（北部地域）



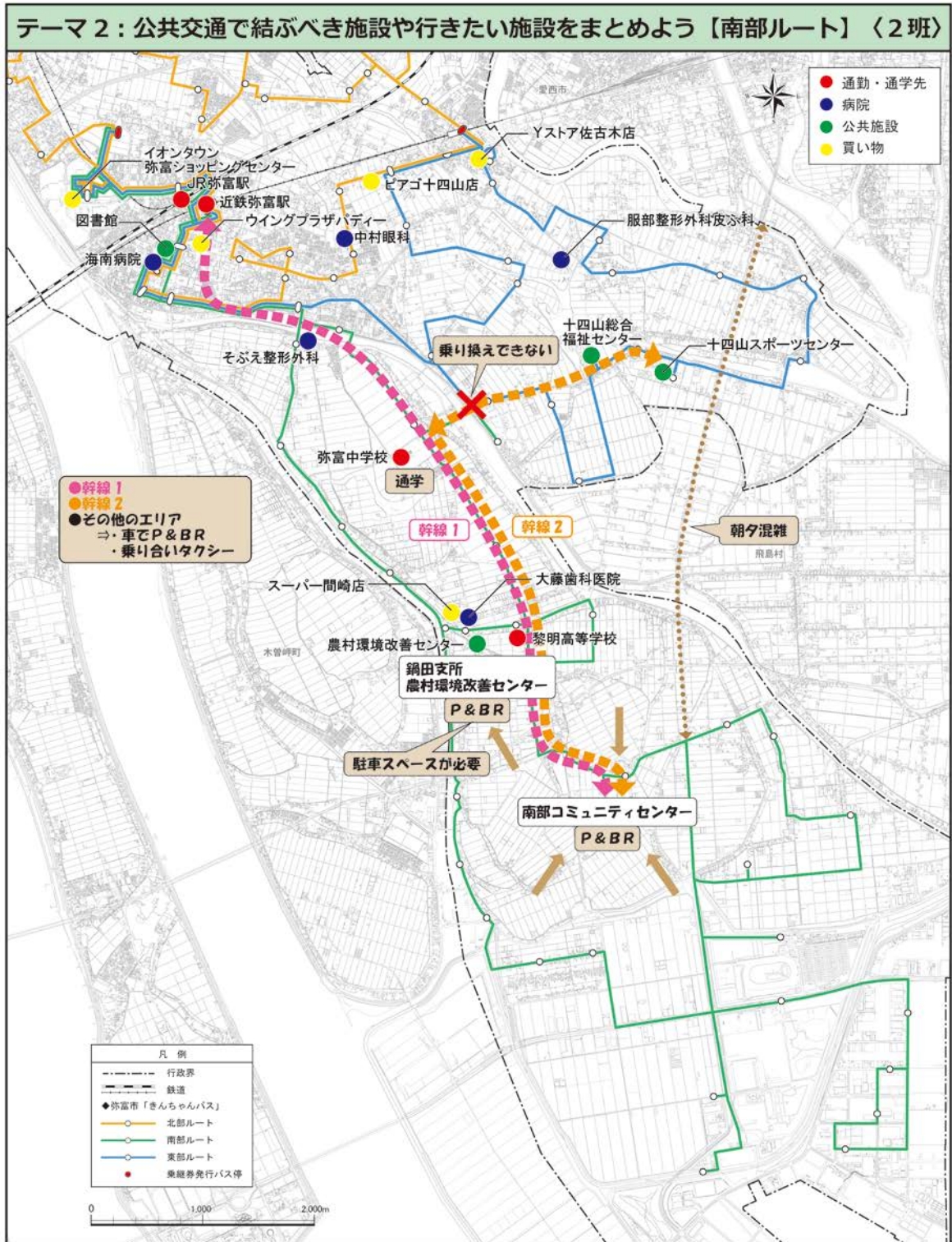
②南部地域

- 行きたい施設は概ね各班とも同様の傾向となっており、市中心部の公共施設や商業施設、海南病院への要望がある。
- 南部コミュニティセンターや鍋田支所を拠点とし、パーク&バスライドや拠点までの乗り合いタクシーの運行のほか、蟹江駅への運行などが提案されている。
- 市境界付近については、木曾岬町や飛鳥村が運行するバスの利用も提案されている。

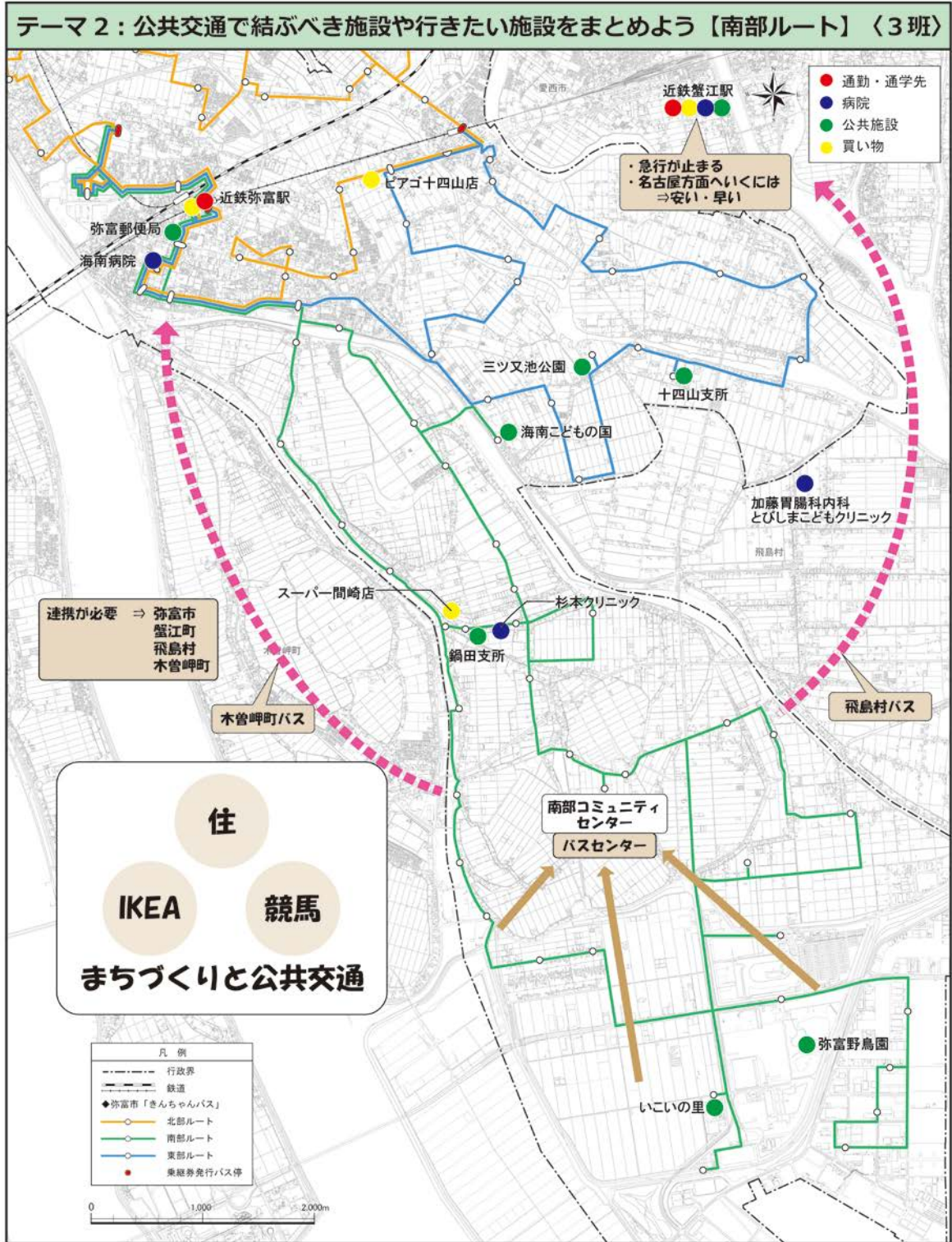
公共交通で結ぶべき施設や行きたい施設（南部地域：1班）



公共交通で結ぶべき施設や行きたい施設（南部地域：2班）



公共交通で結ぶべき施設や行きたい施設（南部地域：3班）



③東部地域

- 行きたい施設は概ね各班とも同様の傾向となっており、市中心部の公共施設や商業施設、海南病院のほか、個人病院などへの要望もある。
- 現在の運行ルートの変更や、十字運行へと再編し、その他のエリアをデマンド運行することなどが提案されている。
- 飛島公共交通バス蟹江線の乗り継ぎに関する提案もある。

公共交通で結ぶべき施設や行きたい施設（東部地域）

